

CONNECT Industrial Smart Hub

製品に関する指示

型式

CONNECT-X

CONNECT-W

部品番号

6159327220

6159327230



この文書の最新バージョンをダウンロード

http://www.desouttertools.com/info/6159924300_JA**⚠ 警告****安全の警告と指示を精読してください**

安全の警告と指示に従わないと、感電や火事、または重傷につながる場合があります。

今後の参考のために警告と指示を全部保管しておいてください

目次

製品情報	5
一般情報	5
保証	5
ウェブサイト	5
スペアパーツに関する詳細	5
寸法	6
CAD ファイル	7
概要	7
概要	7
製品の説明	9
技術データ	11
アクセサリ	13
ネットワークとWI-FIの設定	14
取り付け	18
設置要件	18
ライン電圧のチェック	18
設置に必要な距離	18
互換性のある最小バージョン	18
設置の手順	18
ハブのインストール方法	18
ネットワークのセットアップ方法	27
フィールドバスモジュールの取り付け	32
eDOCKを介したペアリングツール	33
RFIDを介したペアリングツール	35
初期構成	36
名称、トルクの単位、速度の単位、キーパッドのビープ音、スリープモード	36
日時、同期の設定	37
言語の変更方法	37
PC またはスマートフォンに遠隔表示させる方法	38
操作	40
構成手順	40

締め付けユニットの作成方法	40
ツールを締め付けユニットに関連付ける方法	40
簡単なPsetのセットアップ方法.....	41
CVINET WEB データベースへの結果の送信	48
簡単な組立工程のセットアップ方法.....	49
フィールドバスのセットアップ方法.....	53
操作手順	53
進行中の組立工程でアクションを実行する方法.....	53
もう一つの Pset または組立プロセスの変更方法.....	53
曲線を取得して読み取る方法	54
ショートカットとヒント.....	58
CVIMONITORによる結果監視.....	60
結果の表示方法と読み方.....	64
ネットワークインターフェイス (CONNECT) をすばやく選択する方法	67
サービス.....	68
機能について.....	68
機能のステータスを読み取る方法	68
機能を追加する方法.....	68
バックアップデータの保存方法	69
USB キーに結果を保存する	69
システムから結果を削除する	69
RIM から結果を削除する	70
既存の CONNECT のスナップショットを得る方法	70
CONNECT データをリアルタイムで保存する方法	70
RIM から CONNECT へのデータ転送方法	70
ログの自動的な保存.....	70
UVについて	71
UV を RIM にリバランスする	71
UVカウンターを管理する方法.....	73
工場出荷状態リセット	77
メンテナンスに関する注意事項	77
清掃	77
メンテナンス プログラム.....	77

スペアパーツ.....	77
読んでからメンテナンスを行ってください.....	77
稼働状態に戻す前の点検.....	78
ツールメンテナンス.....	78
ツールに関する情報取得.....	78
ツール校正のステータスのモニタリング.....	80
ツールカウンターのモニタリング.....	80
ツール温度のモニタリング.....	81
メンテナンスに関する注意事項.....	82
読んでからメンテナンスを行ってください.....	82
CONNECTのアップグレード.....	82
既存ファームウェアバージョンの確認.....	82
CVIMONITORを使用したファームウェアバージョンの確認.....	82
ファームウェアのアップグレード.....	82
トラブルシューティング.....	83
ツール接続の喪失.....	83
Tightening Unit (締め付け部位)が有効でない場合の対処法.....	83
既存の RIM を別の CONNECT に使用する方法.....	84
CVIMONITORでユーザーログを表示する方法.....	85
ユーザー情報を使用したシステムの監視方法.....	86
Desoutter サポートに送る情報.....	86
ユーザー情報のリスト.....	87
システム関連のユーザー情報のリスト.....	87
ツール関連のユーザー情報のリスト.....	105

製品情報

一般情報

警告 物的損害や重傷を負う危険性

ツールを操作する前にすべての指示を読み、理解し、それらに従っていることを確認してください。すべての注意事項に従わない場合、感電、火災、物的損傷、重傷に至る危険性があります。

- ▶ システムのさまざまな部品とともに提供される安全情報をお読みください。
- ▶ システムのさまざまな部品の設置、運用、保守のための製品注意事項をお読みください。
- ▶ システムおよびその部品に関するすべてのローカル規定安全規制をお読みください。
- ▶ 今後の参考のために、すべての安全情報と注意事項を保管しておいてください。

保証

- 製品保証は、製品を最初に使用してから 12 か月で有効期限が切れますが、いかなる場合でも納品後、最長 13 か月で有効期限が切れます。
- 部品の通常の磨耗や傷は保証に含まれません。
 - 通常の磨耗および裂傷は、その期間に典型的な標準的な工具のメンテナンス（時間、稼働時間などで表される）中に部品交換またはその他の調整/オーバーホールが必要なものです。
- 製品保証は、ツールとその構成部品の正しい使用、メンテナンスおよび修理に依存しています。
- 不適切なメンテナンス、または、保証期間中に Desoutter 以外の人またはその認証サービスパートナーによって実施されたメンテナンスの結果発生した部品の損傷は保証対象となりません。
- ツール部品の損傷や破壊を防ぐために、推奨されるメンテナンススケジュールに従ってツールの整備を行い、適切な手順に従ってください。
- 保証による修理は、必ず Desoutter ワークショップで、または認定サービスパートナーが実施してください。

その Desoutter 契約により、延長保証と最新式の予防保守を提供します。Tool Care 詳細については、お近くのサービス担当者にお問い合わせください。

電動モータの場合：

- 電動モータが開かれていない場合のみ保証が適用されます。

ウェブサイト

当社の製品、付属品、スペアパーツおよび公表事項に関する情報は、Desoutter の Web サイトにてご覧いただけます。

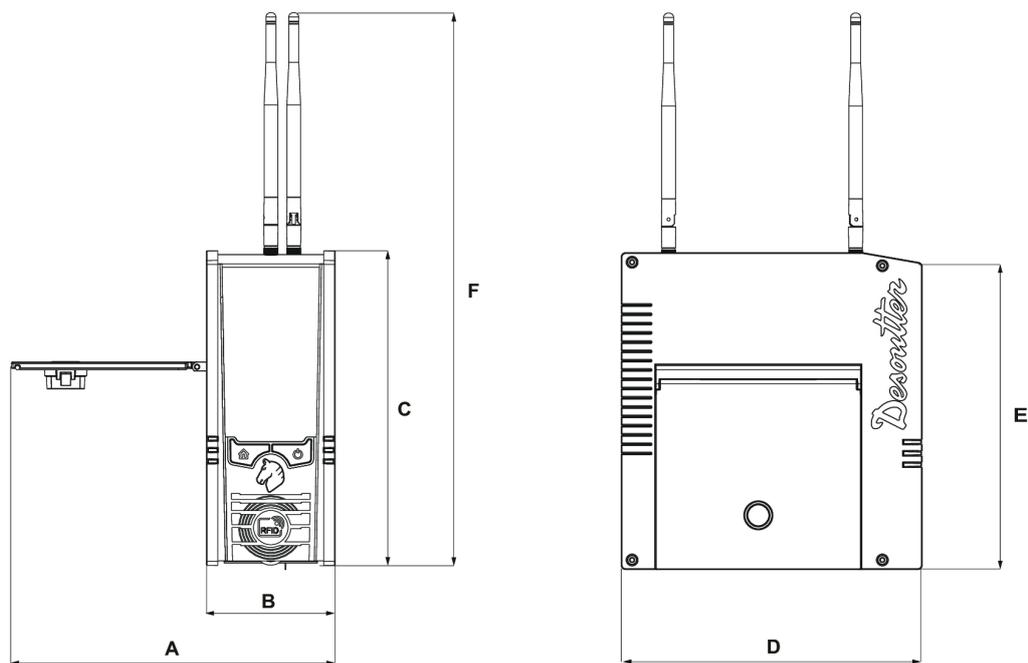
次をご覧ください：www.desouttertools.com。

スペアパーツに関する詳細

分解図および予備部品のリストは次のサービスリンク www.desouttertools.com でご覧ください。

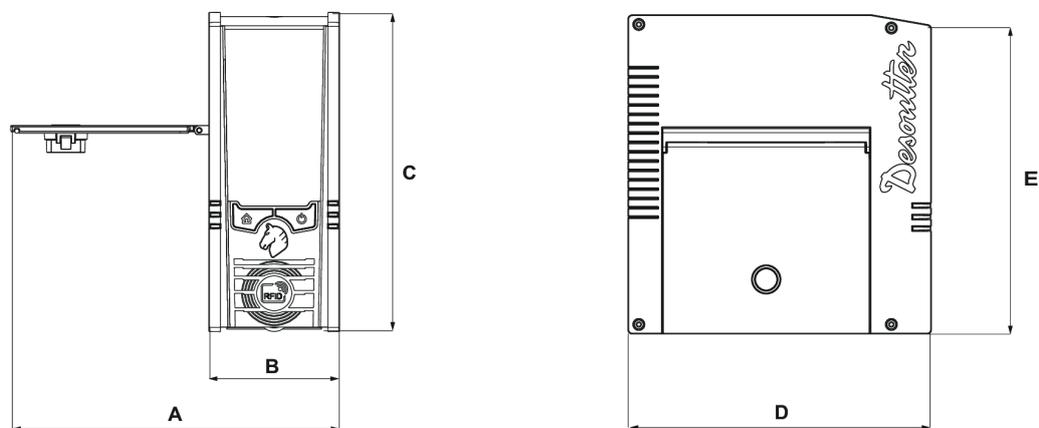
寸法

CONNECT-W



	mm	in
A	227	8.94
B	90	3.54
C	222	8.74
D	210	8.28
E	215	8.46
F	390	15.35

CONNECT-X



	mm	in
A	227	8.94

	mm	in
B	90	3.54
C	222	8.74
D	210	8.28
E	215	8.46

CAD ファイル

製品寸法について、詳しくは寸法図面の記録資料をご覧ください:

<https://www.desouttertools.com/resource-centre>

概要

概要

CONNECTは締め付けソリューション向けのDesoutterプレミアムプラットフォームです。

- CONNECT-WにはWI-FIアクセスポイントが組み込まれており、内部アクセスポイントで最大10個、外部アクセスポイントで最大20個のコードレスツールを管理できます。
- CONNECT-Xは外部 WI-FIアクセスポイントと通信し、最大 20個のコードレスツールを管理することができます。

締め付けユニット

締め付けユニットは工具を管理しています。

1つの工具が1つの締め付けユニットに接続されています。

締め付けユニットには3つのタイプがあります：

アイコン	タイプ	説明	関連ツール
	Premium	この締め付けユニットは、完全なトレーサビリティでコードレスツールを管理します。	EABS EABC EPBC BLRTC
	Essential	この締め付けユニットは、OK/NGトレーサビリティでコードレスツールを管理します。	EABS EABC EPBC BLRTC
	E-LIT Wi-Fi	この締め付けユニットは、OK/NGトレーサビリティでコードレスツールを管理します。	ELC-A-W ELC-P-W

各締め付けユニットは、UV (ユニット数) によってアクティブ化する必要があります。UV (ユニット数) は、構成ステップ中にすでに定義されており、eWalletで提供されています。

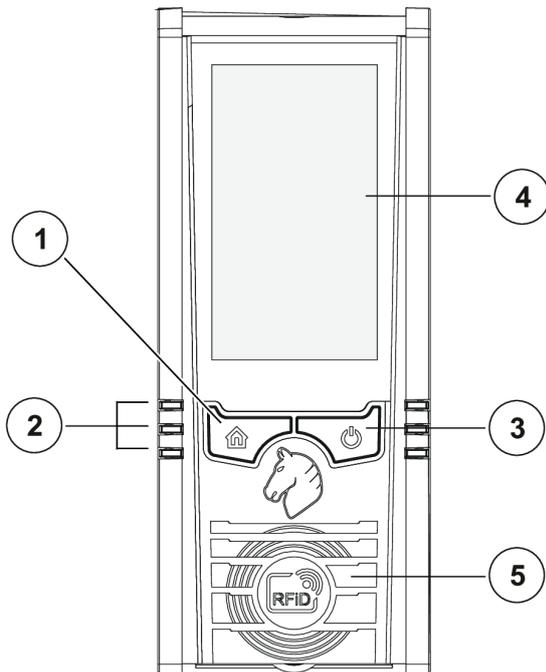
締付けユニット、機能、UV

締付けユニットの種類と特徴	Premium	Essential	E-lit Wi-Fi
Psets数	10	6	4
組立工程数	10	6	1/バッチで4
CONNECT、 CVIMONITORとSightでライブ結果	OK/NG モニタリング 値 曲線	OK/NG モニタリング 値 曲線	OK/NG モニタリング
トレーサビリティ	OK/NG モニタリング 値 曲線	OK/NG モニタリング	OK/NG モニタリング

機能とUVs	Premium	Essential	Elit Wi-Fi
締め付けユニット数	86 UVs	41 UVs	15 UVs
最大50個のPsets	11 UVs	-	-
最大250個のPsets	17 UVs	-	-
最大 50の組み立てプロセス	15 UVs	-	-
最大 250の組み立てプロセス	20 UVs	-	-
Desoutter プロトコル	5 UVs	-	-
カスタマイズされたプロトコル	5 UVs	5 UVs	-
Virtual Cable (1作業スペース)	15 UVs	15 UVs	-
Virtual Cable (複数の作業スペース)	25 UVs	25 UVs	-
CVILOGIX	9 UVs	9 UVs	9 UVs

製品の説明

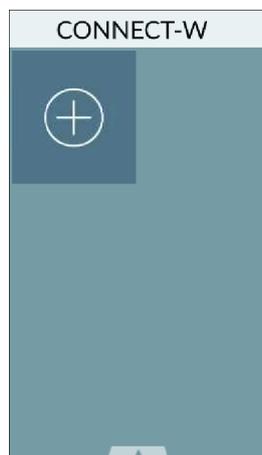
正面パネル



1	ホームボタン
2	LED 赤色 青色 緑
3	電源管理ボタン
4	タッチスクリーン
5	RFID アンテナ

スタート画面

最初の電源投入時に、次の画面が表示されます。



CONNECT名は一番上にあります。

一番下の矢印をクリックします。

主なボタンとアイコン



このアイコンをタップして締め付けの結果と曲線にアクセスします。



このアイコンをタップして次を構成します：

- システム
- Tightening Unit (締め付け部位)
- ツール
- Psets
- 組立工程
- 機能管理



このアイコンをタップして次の操作にアクセスします。

- システムファームウェアの更新
- CVI LOGIX プログラムの使用
- 構成と結果のバックアップ
- I/O イベントの管理
- システムメモリの管理
- 結果、ログ、ユーザー情報の管理
- ツールに関する情報取得
- eDOCK または RFID を通じたツールのペアリング
- ユーザー情報ログの表示
- RIM の管理
- システムファームウェアバージョンの表示



フロントパネルのこのボタンをタップしてスタート画面を表示します。



このアイコンをタップして認証します。



このアイコンをタップして終了。

技術データ**電源**

100 - 240 V

50 ~ 60 Hz

単相

また、コネクタは外部からの24 V DC電力で起動することもできます。

消費電力

両モデル CONNECT-W および CONNECT-X :

100-240 V / I 最大	2.5 A
24 V / I 最大	4 A
最大消費電力	100 W
スタンバイ消費電力	15 W

重量

型式	kg	lb
CONNECT-X	2.1	4.63
CONNECT-W	2.1	4.63

保管と使用条件

保管温度	-20 ~ + 70 °C (-4 ~ + 158 F)
作動温度	0 ~ + 45 °C (32 ~ + 113 F)
保管湿度	0 ~ 95%RH (結露しないこと)
動作湿度	0 ~ 90%RH (結露しないこと)
最高高度	2000メートル (6562フィート)

汚染度2環境で使用可能

屋内使用のみ

ワイヤレス通信仕様

デュアルバンド - 5.xおよび2.4 GHz、MIMO、IEEE802.11ac屋内トランシーバ。

無線設定	3×3 MIMO、デュアルバンド
中心周波数帯域	<ul style="list-style-type: none"> • 5.180 GHz ~ 5.825 GHz • 2.412 GHz ~ 2.484 GHz 規制区域によって異なります
チャンネル帯域幅*	20、40、80 MHzチャンネル

無線変調/データ
速度 (ダイナミックリンクアダプテーション)

- 802.11ac: MCS0-9 (5.x GHz)
- 802.11a: 6、9、12、18、24、36、48、54 Mbps (5.x GHz)
- 802.11n: MCS0-23 (5.xおよび2.4 GHz)
- 802.11b/g: 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54 Mbps (2.4 GHz)

802.11ac Wave 1機能

- APおよびクライアントとしての802.11動的周波数選択 (DFS)
- パケット集約 : A-MPDU (送信/受信)、A-MSDU (送信/受信)、最大比合成 (MRC)、巡回シフトダイバーシティ (CSD)、フレームアグリゲーション、ブロックACK、802.11e互換バースト、空間多重、巡回遅延ダイバーシティ (CDD)、低密度パリティ検査 (LDPC)、時空間ブロック符号 (STBC)
- 最大1.3 Gbps (80 MHzチャンネル) の物理データレート

802.11nバージョン2.0の機能

- APおよびクライアントとしての802.11動的周波数選択 (DFS)
- パケット集約 : A-MPDU (送信/受信)、A-MSDU (送信/受信)、最大比合成 (MRC)、巡回シフトダイバーシティ (CSD)、フレームアグリゲーション、ブロックACK、802.11e互換バースト、空間多重、巡回遅延ダイバーシティ (CDD)、低密度パリティ検査 (LDPC)、時空間ブロック符号 (STBC)
- 最大450 Mbps (40 MHzチャンネル) の物理データレート

RFID 13.56 Mhz周波数:

周波数: 13.553 MHz-13.567 Mhz

遠方界 : < 42 dBμA/m (10 m)

WWIFI 2.4 GHz

周波数: 2400 MHz ~ 2483.5 MHz

最大無線電力

EIRP : < 20dBm

WIFI 5 GHz

周波数 :

5150 MHz ~ 5350 MHz

5470 MHz ~ 5725 MHz

5725 MHz ~ 5875 MHz

最大無線電力

EIRP : < 20dBm

最大の無線出力電力を持つ帯域

2400 MHz - 2483,5 MHz	17.6 dBm
5150 MHz - 5350 MHz	16.6 dBm
5470 MHz - 5725 MHz	17.3 dBm
5725 MHz - 5875 MHz	12.1 dBm

タイプ	IEEE 802.11a/b/g/n
RED IEEE 802.11 b/g/n	2400 - 2483.5 MHz 20 dBm (100 mW)。
最大RF出力電力	< 20 dBm

アクセサリ

同梱のアクセサリ

RIMは Removable Integrated Memory (取り外し可能な内蔵メモリ) の略で、フロントパネルに挿入されています。

これには、構成 (工具パラメータ、締付けプロセス)、締付け結果とカーブ、および締め付けユニットの機能に割り当てられた UV が含まれます。

これは、いつでも取り外して別の CONNECT に挿入することができます。

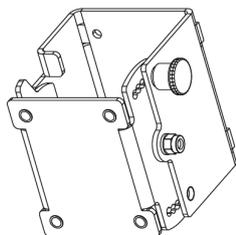
壁面取り付けキット	6153995675
-----------	------------

必要なアクセサリ

エリア	長さ m	長さ ft	部品番号
ヨーロッパ	2.5	8.20	6159177390
アメリカ合衆国	2.5	8.20	6159177410
英国	2.5	8.20	6159177400
中国	2.5	8.20	6159177420

オプションのアクセサリ

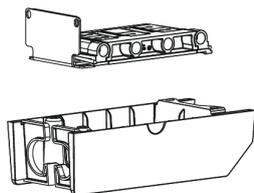
次のアクセサリを使用すると、ハブを7.5°ごとに傾けることができます (最小 : -15° / 最大 : +15°) 。



高度な壁面取り付け

6153995650

次のアクセサリはCONNECTをほこりや水しぶきから保護するために使用されます。



IP54 キット

6153993360

次のケーブルを使用して、外部 24V DC 出力でCONNECT に電源を供給します。

長さ m	長さ ft	部品番号
5	16.40	6159177430

ネットワークとWI-FIの設定

既定システムのイーサネット構成

項目	Desoutter の既定パラメータ
IP アドレス (イーサネット 1)	192.168.5.212
Subnet mask (サブネットマスク)	255.255.255.0
Gateway (ゲートウェイ)	127.0.0.1

デフォルトのイーサネット構成-外部アクセスポイント

項目	Desoutter の既定パラメータ	その他の可能な値
IP address (IP アドレス)	192.168.5.201	ローカル設定を参照
サブネットマスク	255.255.255.0	ローカル設定を参照

WI-FI設定

項目	Desoutter の既定パラメータ	その他の可能な値
ネットワーク名 (SSID)	Desoutter_1	255 文字の文字列

項目	Desoutter の既定パラメータ	その他の可能な値
セキュリティタイプ	WPA/WPA2 PSK	Open
暗号化タイプ	AES/CCMP	なし WEP64 WEP168 TKIP
セキュリティキー	mydesoutter_1	255 文字の文字列
調節ドメイン	Worldwide	ETSI (ヨーロッパ) FCC (アメリカ) TELEC (日本)
無線帯域	2.4 GHz - チャンネル 1 - 11	5 GHz - U-NII-1 5 GHz - U-NII-2 5 GHz - U-NII-2 ext 5 GHz - U-NII-3
データレート	54 Mbit	1 Mbit 2 Mbit 5.5 Mbit 6 Mbit 9 Mbit 11 Mbit 12 Mbit 18 Mbit 24 Mbit 36 Mbit 48 Mbit 13 Mbit (MCS1) 19.5 Mbit (MCS2) 26 Mbit (MCS3) 39 Mbit (MCS4) 52 Mbit (MCS5) 58.5 Mbit (MCS6) 65 Mbit (MCS7) 6.5 Mbit (MCS0)
適応変調	真	-
ツールのRSSI (Received Strength - Signal Indication)		> -65 dBm (最小)

調節ドメイン

WLAN 規制ドメインは、一連の法律やポリシーによって制御される有界領域として定義されます。多くの国が、FCC、ETSI、TELEC、worldwideの規格に準拠しています。

規制ドメイン別の 2.4 GHz の認証チャンネルリスト

チャンネル	FCC アメリカ	ETSI ヨーロッパ	TELEC 日本	Worldwide
1	x	x	x	x
2	x	x	x	x
3	x	x	x	x
4	x	x	x	x
5	x	x	x	x
6	x	x	x	x
7	x	x	x	x
8	x	x	x	x
9	x	x	x	x
10	x	x	x	x
11	x	x	x	x
12	該当せず	x	x	該当せず
13	該当せず	x	x	該当せず

規制ドメイン別の 5 GHz の認証チャンネルリスト

チャンネル	無線 帯域	FCC 北米	ETSI ヨーロッパ	TELEC 日本	Worldwide
36	U-NII-1	x	x	x	x
40		x	x	x	x
44		x	x	x	x
48		x	x	x	x
52	U-NII-2	x	x	x	x
56		x	x	x	x
60		x	x	x	x
64		x	x	x	x

チャンネル	無線 帯域	FCC 北米	ETSI ヨーロッパ	TELEC 日本	Worldwide
100	U-NII-2 Ext	x	x	x	x
104		x	x	x	x
108		x	x	x	x
112		x	x	x	x
116		x	x	x	x
120		該当せず	x	x	該当せず
124		該当せず	x	x	該当せず
128		該当せず	x	x	該当せず
132		x	x	x	x
136		x	x	x	x
140		x	x	x	x
149	U-NII-3	x	x	該当せず	該当せず
153		x	x	該当せず	該当せず
157		x	x	該当せず	該当せず
161		x	x	該当せず	該当せず
165		x	x	該当せず	該当せず

取り付け

設置要件

ライン電圧のチェック

CONNECT を主電源に接続する前に、ライン電圧が適切であることを確認してください。

ライン電圧 (V)	100-120 / 200-240 V~
-----------	----------------------

~の記号は「交流」を意味します。

設置に必要な距離

CONNECT または外部 WI-FI アクセスポイントと最も遠いツールの間の最大距離は、金属物などの障害物がない場合で 30 メートル (98.42 フィート) です。

互換性のある最小バージョン

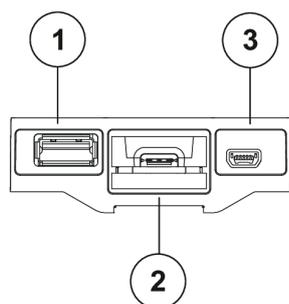
ソフトウェア	バージョン
CVI CONFIG	V 2.3.7.x
CVIMONITOR	V 1.8.0.x

ツール	バージョン
EABC	C5.6.x
EPBC	C5.6.x
BLRTC	C5.6.x
EABS	C5.9.x
ELC-W	4.0.1.x

設置の手順

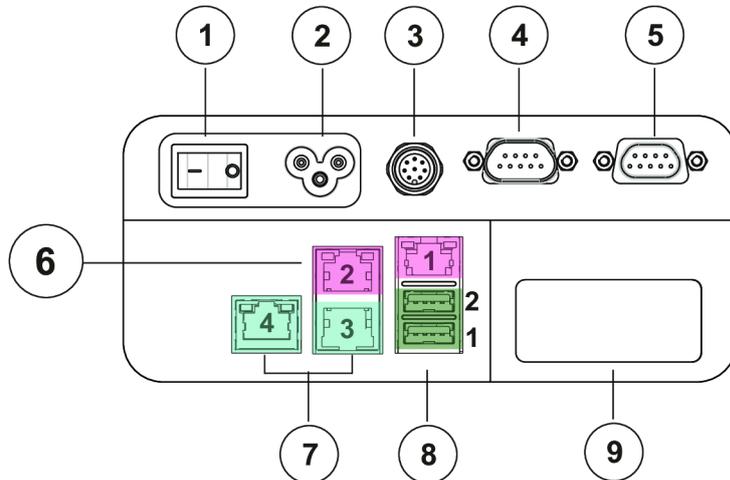
ハブのインストール方法

底部パネル



1	USB ポート
2	RIM スロット
3	ミニ USB

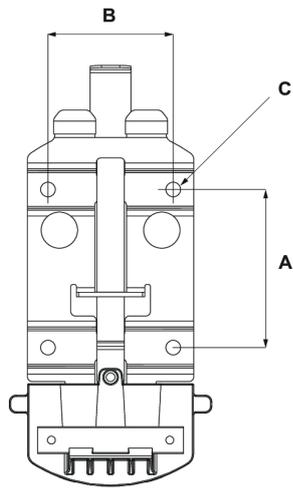
内側パネル



1	オン/オフ スイッチ
2	電源コード用プラグ
3	24V DCコネクタ
4	RS232 ポート
5	eBUS ポート
6	イーサネットポート 1 および 2
7	イーサネットポート 3 および 4 ポート 4 は PoE イーサネットポートです。 「PoE」は「パワー・オーバー・イーサネット」を意味します。
8	USB ポート 2 個
9	フィールドバスモジュールスロット

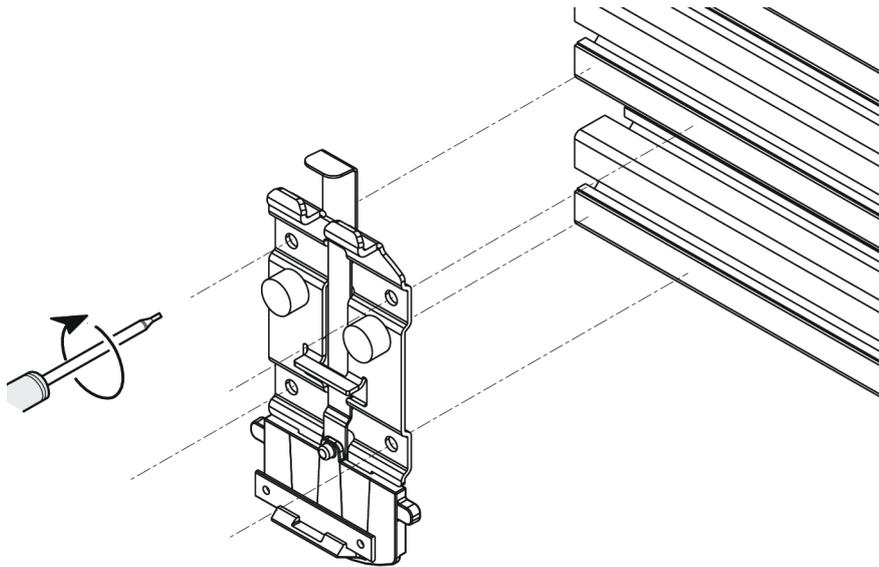
壁面取り付けキットの取り付け

次の穴あけテンプレートを使用して壁面取り付けキットを正しく取り付けてください。

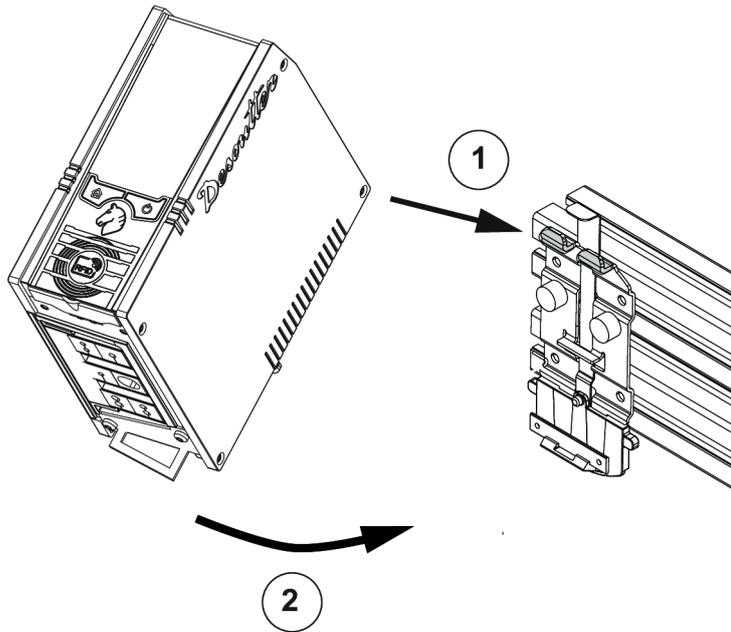


	mm	インチ
A	70	2.76
B	55	1.16
C	6.5	0.26

壁面取り付けキットをレールまたは壁面に取り付けます。



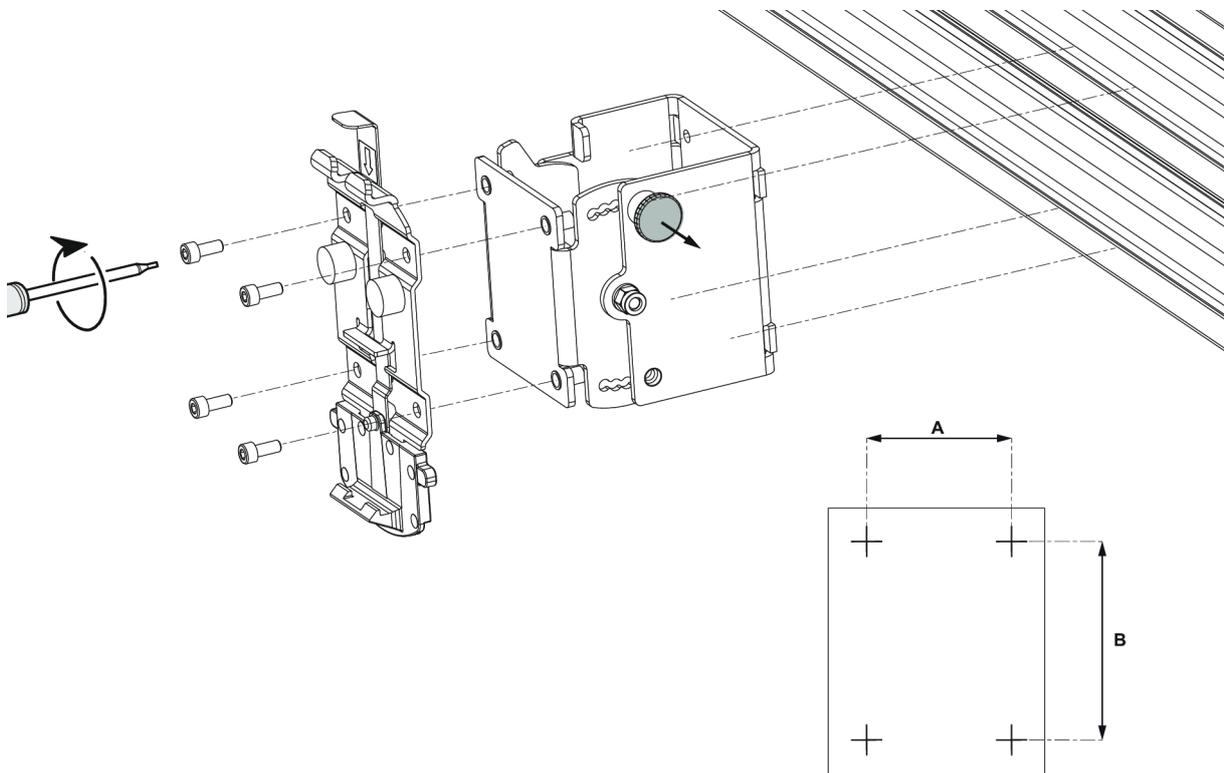
次に従って CONNECT をキットに配置します。



1. 背面スロットがキットの吊り手に収まるようにCONNECT を壁面取り付けキットに配置します。
2. CONNECT を落とし込みます。カチッと音が鳴り、定位置に固定されます。

高度な壁面取り付けによる取り付け

アクセサリをDINレールまたは壁に取り付けます。



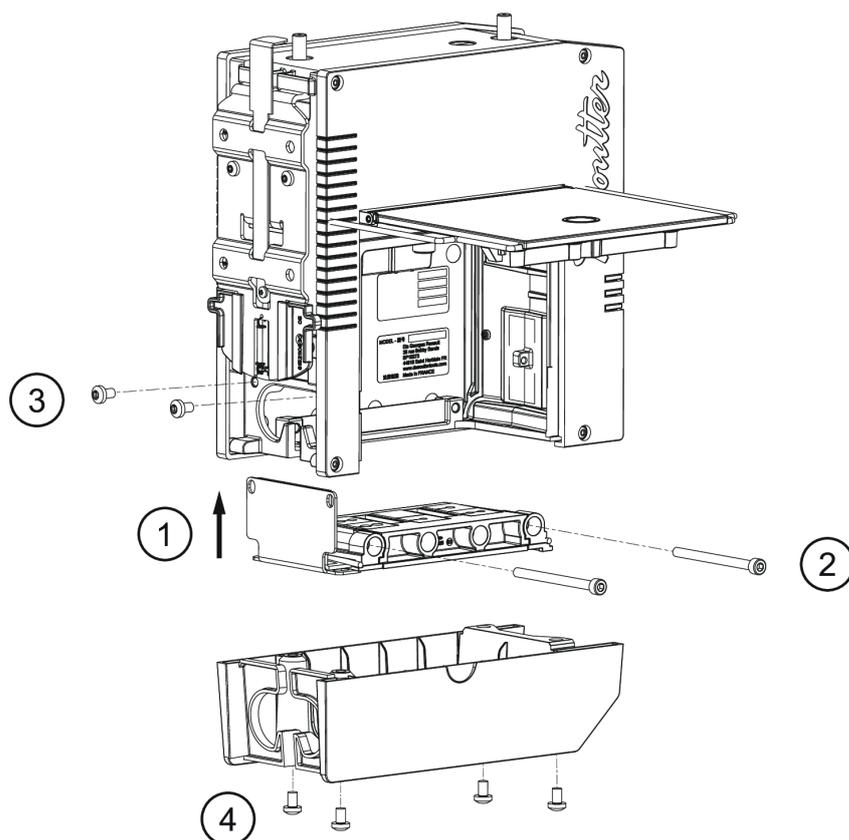
	mm	in
A	55	2.17

	mm	in
B	70	2.76

① ノブを引き出してアクセサリを傾けると (-15° / + 15°)、ネジをより簡単に締め付けることができます。

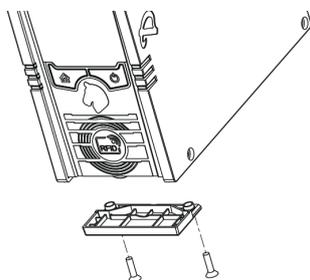
前に示した通り、壁の取り付けキットに CONNECT を配置します。

IP54 キットの取り付け

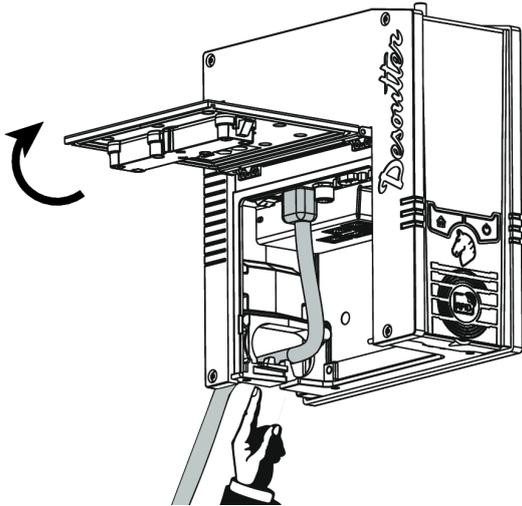


① RIMカバー保護は、IP54キットの上に取り付ける必要があります。

RIMカバー保護の取り付け



ケーブルの経路

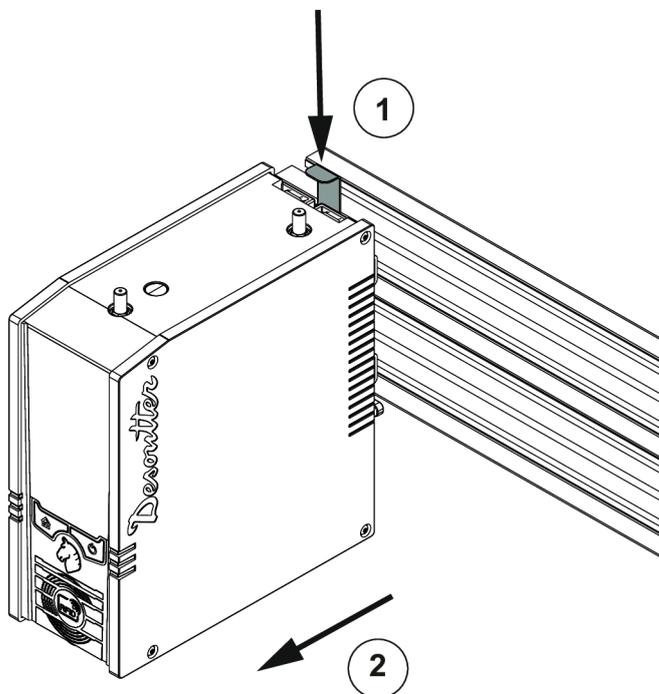


1. ドアにあるボタンを押してサイドドアを開きます。
2. ドアを CONNECT に押し付けます。マグネットによりドアは定位置に留まります。
3. ケーブルをプラグに差し込んでグロメットに通します。

CONNECT を壁面取り付けキットから取り外します。

1. 内側ウィンドウのスイッチの電源を切ります。
2. ケーブルのプラグを抜き取ります。

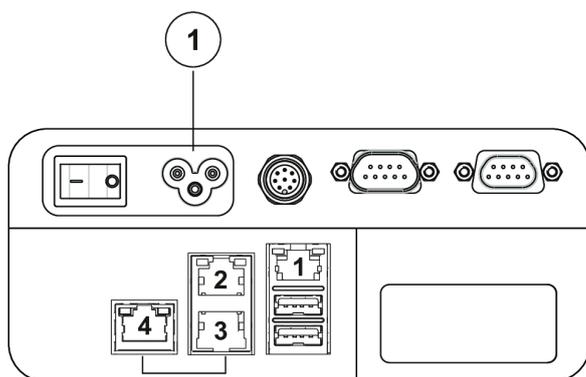
CONNECT をキットから取り外すには次の手順に従います。



1. 固定タブを押し込んで CONNECT をアンロックします。
2. CONNECT を持ち上げて取り外します。

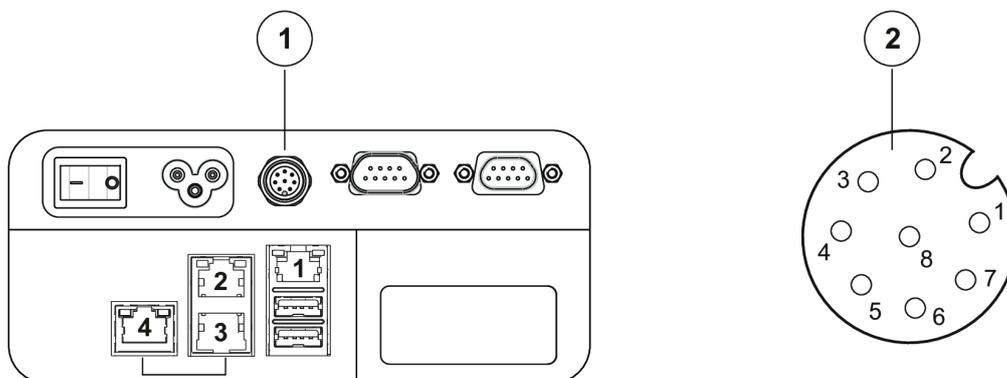
AC 入力電源への接続

① 必要なアクセサリの章に記載されている電源コードの1つのみを使用してください。



電源コードを (1) と電源に差し込みます。

24 V DC 入力電源への接続



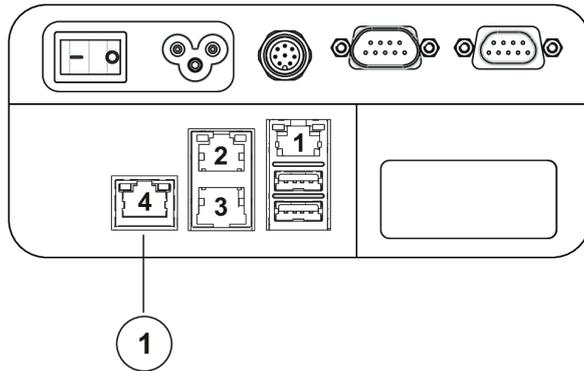
ケーブルコネクタを (1) に差し込みます。

ケーブルを外部 24V DC 入力に接続するには、次のピンのレイアウト (2) を参照してください。

各ピンの最大電流は1.5Aです。

1	+ 24 V DC
2	+ 24 V DC
3	0 V
4	0 V
5	RS422 RX +
6	RS422 RX -
7	RS422 TX +
8	TX-

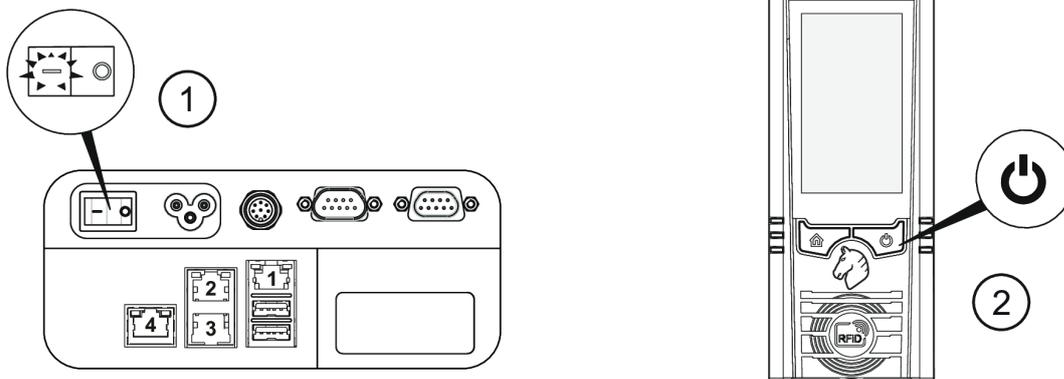
PoE ポートへの接続 (出力電源)



イーサネットケーブルを CONNECT の PoE イーサネットポート (1) とデバイスのイーサネットポートに接続します。

CONNECT の PoE ポートのタイプは : 802.3at です。

CONNECT の電源を入れる

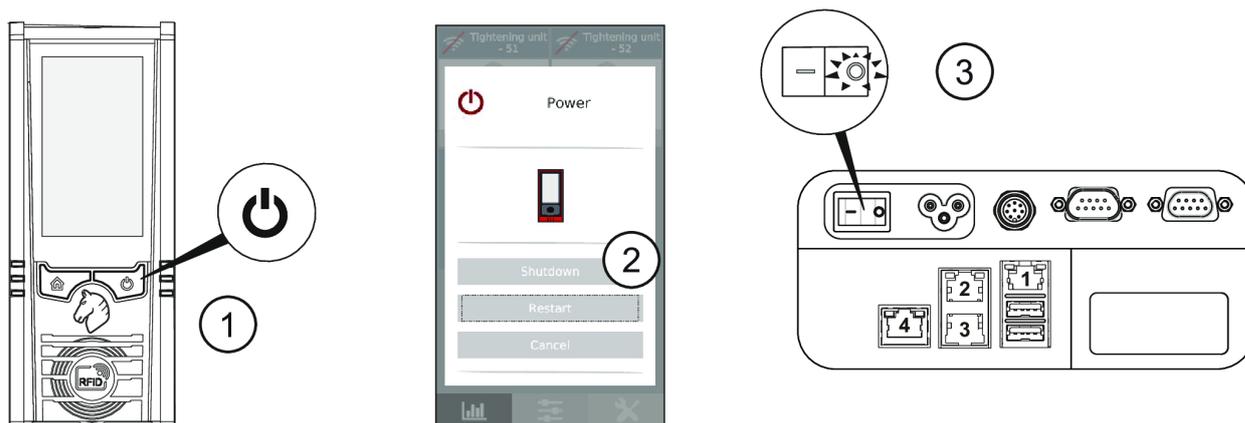


1. サイドドアを開きます。
ON/OFFスイッチをI側に押します。これにより、システムの電源が入ります。
2. 前面パネルの電源管理ボタンを押し続けます。LEDが点滅し、Desoutter のロゴが表示されます。スタート画面が表示され、緑色のLEDが点灯したままになります。

2分後 (規定値)、画面はオフになります。画面をタップしてスリープ解除させます。

- ① CONNECT-W の電源投入中に青色のLEDが点滅します。その後、組み込み Wi-Fi アクセスポイントが正常に動作していることを示すために、点灯したままになります。

CONNECT の電源を切る



1. 前面パネルの電源管理ボタンを押し続けます。
2. シャットダウン をタップして CONNECT をオフにします。
3. サイドドアを開きます。

ON/OFFスイッチを O側に押します。これにより、システムの電源が切れます。

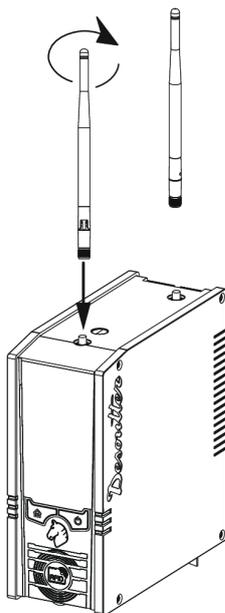
CONNECTをコンピューターにリンクする方法

イーサネットケーブルをコンピューターと、内部パネルにある使用可能なイーサネットポートに差し込みます。

コンピューターで、ネットワークと共有センターを開き、コンピューターの IP アドレスを、互換性のある固定 IP アドレスに変更します。必要であれば、サブネットマスクも変更します。

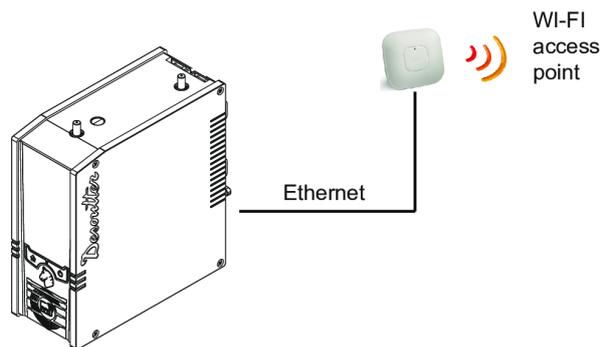
CONNECT-WへのWI-FIアンテナの取り付け

- ① CONNECT-Wを動かす前に、必ずアンテナを取り外してください。



キャップを取り外し、アンテナを取り付けます。

WI-FI アクセスポイントへの接続



イーサネットケーブルを内部パネルで空いているイーサネットポートに差し込んで、これを Wi-Fi アクセスポイントに接続します。

ネットワークのセットアップ方法

ネットワークの概要

Desoutterイーサネット1は通常、生産ライン専用の有線ネットワークです。

Desoutterイーサネット2は通常、オフィス (企業ネットワーク) 専用の有線ネットワークです。

	既定のIPアドレス	既定のサブネットマスク
イーサネット1に接続されたシステム	192.168.5.212	255.255.255.0
イーサネット2に接続されたシステム	192.168.6.212	255.255.255.0

ネットワーク構成の選択方法



各 IP アドレスが一意で有効であることを確認してください。

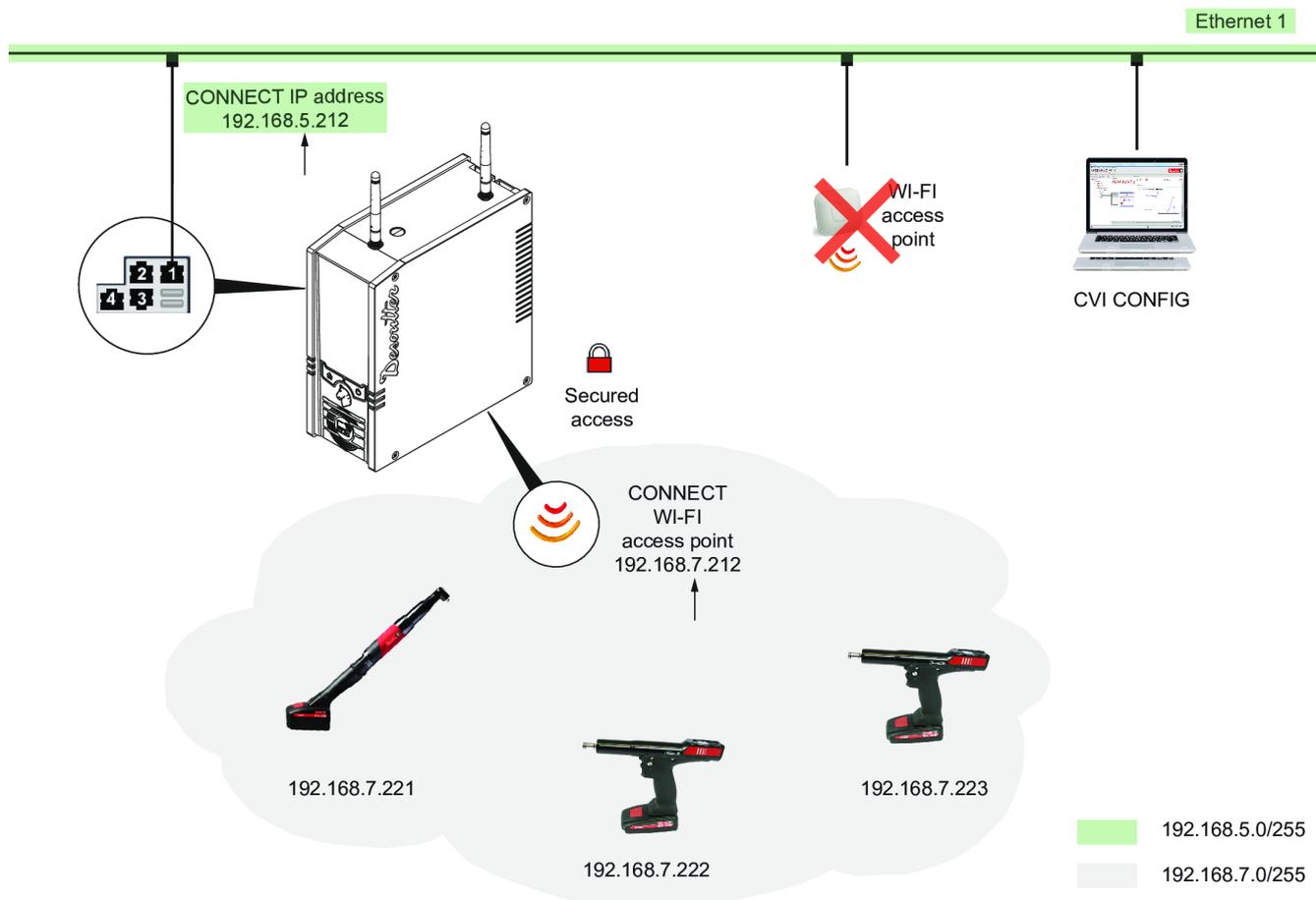
1. ネットワーク構成は、ご使用の CONNECT モデルによって異なります。
CONNECT-X : ツールは、生産ラインのWI-FIアクセスポイントと通信します。
CONNECT-W : ツールは、組み込みWI-FIアクセスポイントと通信します。
2. ネットワーク構成は、CONNECT のインターフェイス方法によって異なります。

CONNECT は、次にリンクできます :

- 1ネットワーク、すなわちイーサネット1または2
- 2ネットワーク、すなわちイーサネット1と2

① 専用のWI-FIアクセスポイントとイーサネット1または2の間の「ブリッジ」を許可することができます。

CONNECT-W と1つの有線ネットワーク



CONNECT の使用可能なイーサネットポートを使用して、イーサネット 1 にリンクします。
CONNECT へ行きます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

システム > 周辺機器/ネットワーク をタップします。

ネットワークに名前を付けます。

CONNECT に有効な IP アドレスを入力します。



このアイコンをタップします。

CONNECT に SSID を指定します。

WI-FI アクセスポイントの有効な IP アドレスを CONNECT に入力します。



このアイコンをタップします。

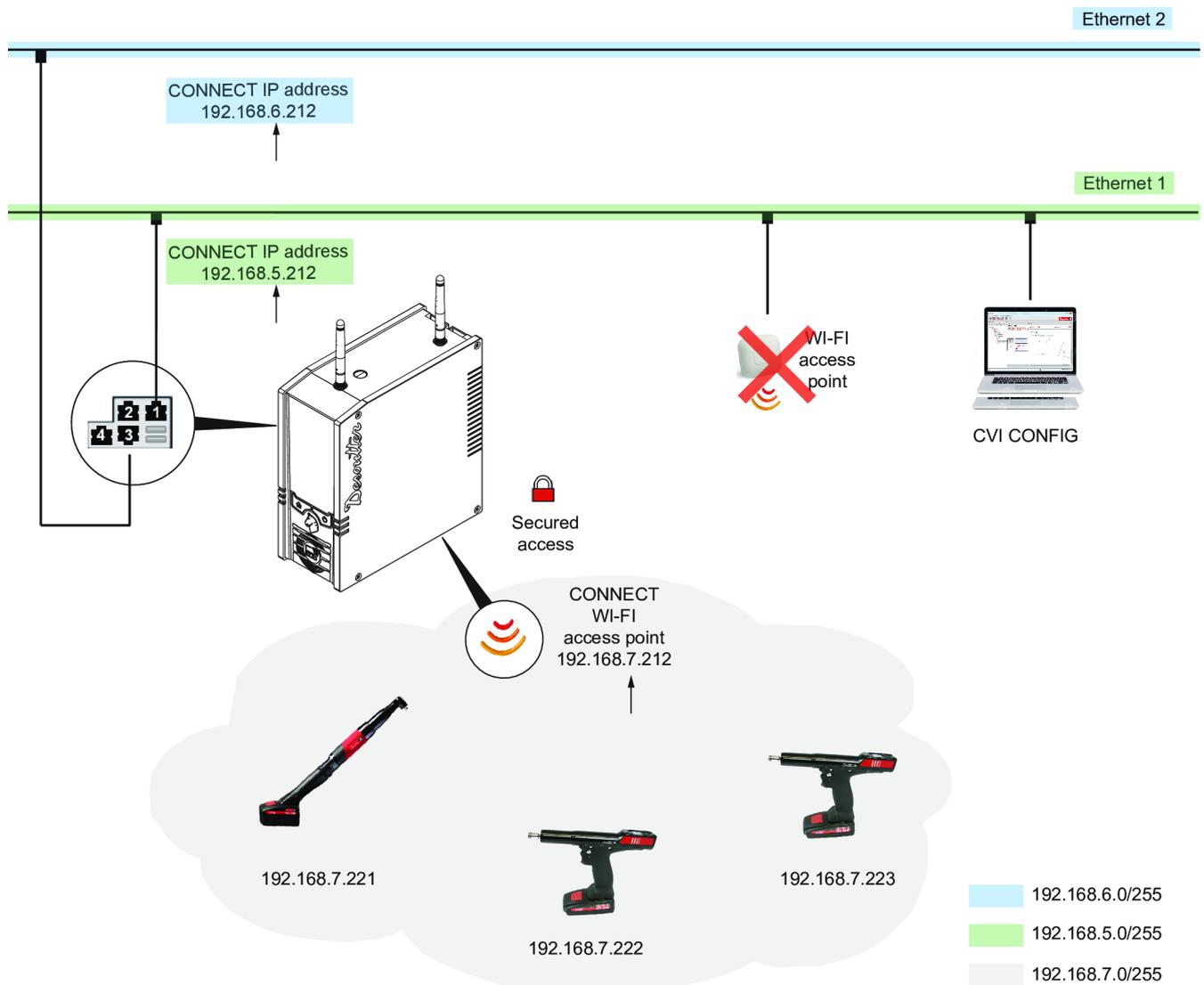
ワイヤレスパラメータを入力します。



このアイコンをタップして認証します。

- ① 構成変更中は青色のLEDが点滅します。その後、組み込み WI-FI アクセスポイントが正常に動作していることを示すために、点灯したままになります。

接続 Wと2つの有線ネットワーク



イーサネットポート 1 または 2 を使用して、CONNECT をイーサネット 1 にリンクします。
イーサネットポート 3 または 4 を使用して、CONNECT をイーサネット 2 にリンクします。
CONNECT へ行きます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

システム > 周辺機器/ネットワーク をタップします。



このアイコンをタップします。

各ネットワークに名前を付けます。

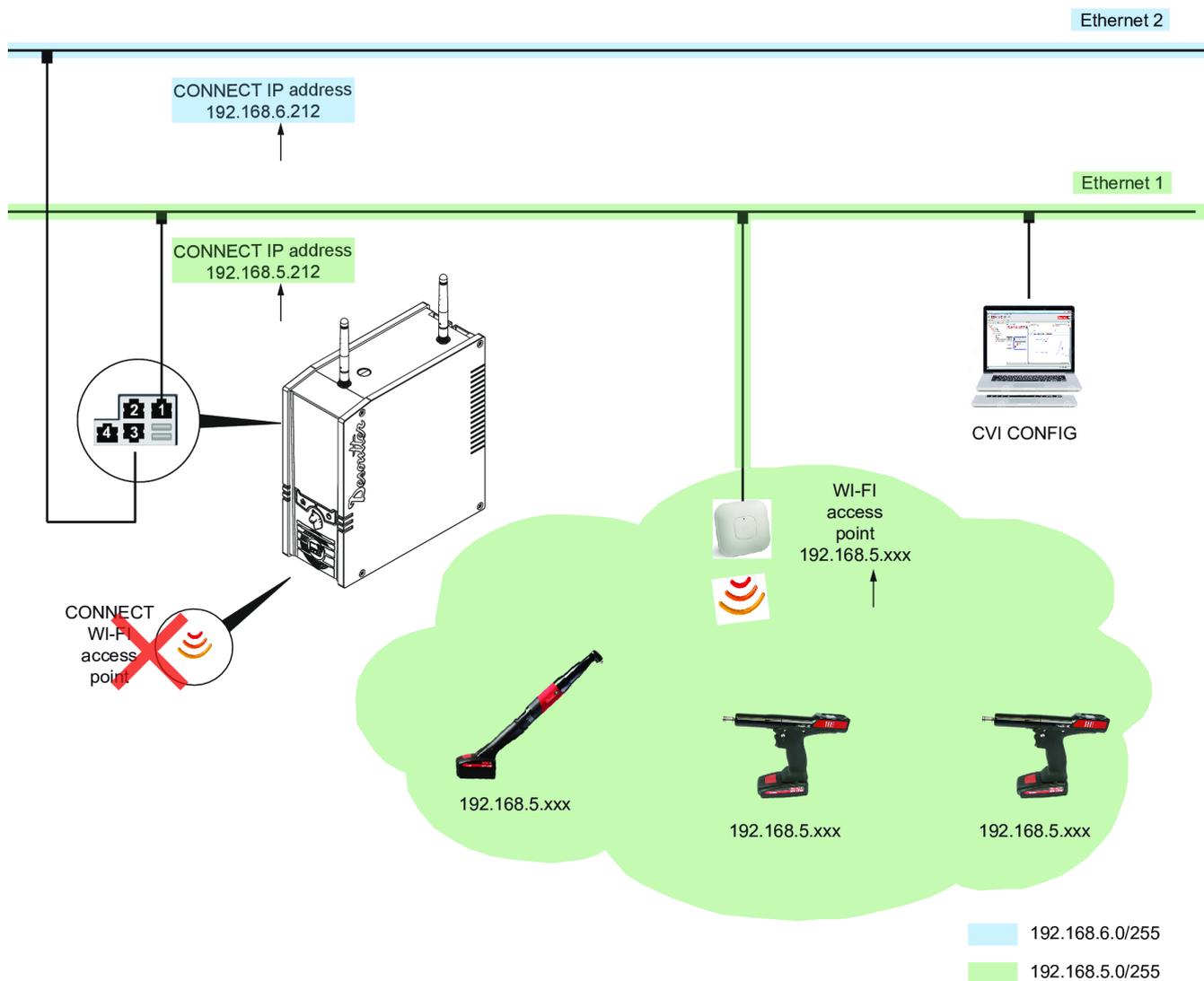
各ネットワークおよび各 CONNECT に対して有効な IP アドレスを入力します。



このアイコンをタップして認証します。

- ① 構成変更中は青色のLEDが点滅します。その後、組み込み WI-FI アクセスポイントが正常に動作していることを示すために、点灯したままになります。

WI-FI アクセスポイントのチェックを外した場合の接続 X または接続 W



イーサネットポート 1 または 2 を使用して、CONNECT をイーサネット 1 にリンクします。
 イーサネットポート 3 または 4 を使用して、CONNECT をイーサネット 2 にリンクします。
 CONNECT へ行きます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

システム > 周辺機器/ネットワーク をタップします。



このアイコンをタップします。

各ネットワークに名前を付けます。

各ネットワークおよび各 CONNECT に対して有効な IP アドレスを入力します。



CONNECT-W, の場合、このアイコンをタップすると、WI-FIアクセスポイントの画面が表示されます。

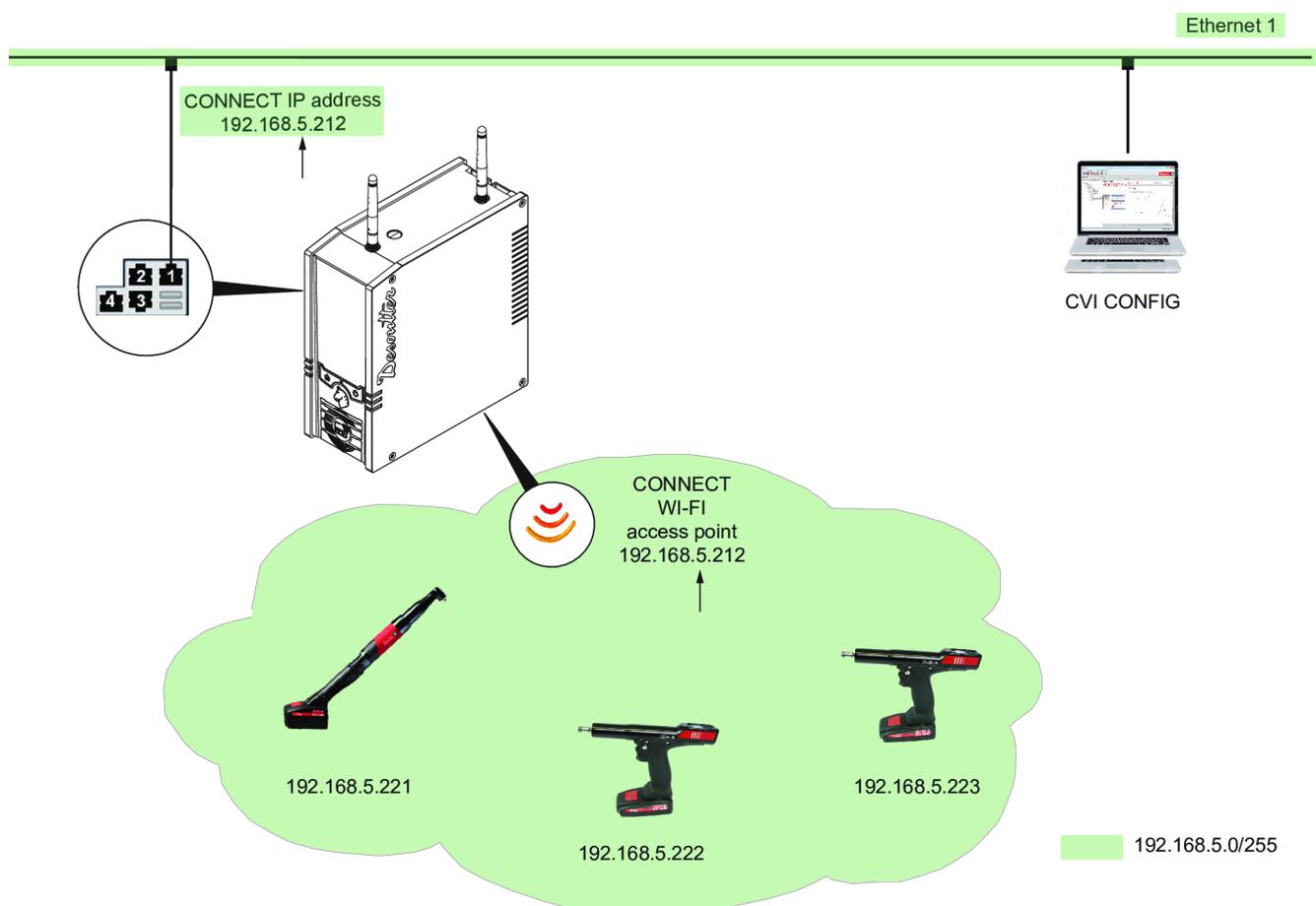
WI-FIアクセスポイント有効のチェックを外します。



このアイコンをタップして認証します。

① 青色のLEDが消灯。

CONNECT-W/イーサネット1/2にリンクされた埋め込みワイヤレスネットワーク



CONNECT の使用可能なイーサネットポートを使用して、イーサネット 1 にリンクします。

CONNECT へ行きます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

システム > 周辺機器/ネットワーク をタップします。

ネットワークに名前を付けます。

CONNECT ごとに有効な IP アドレスを入力します。



このアイコンをタップします。

リンク先 ボックスに移動し、[イーサネット 1] を選択します。

埋め込みアクセスポイントのパラメータを 1 ページ目と 2 ページ目に入力します。



このアイコンをタップして認証します。

- ① 構成変更中は青色のLEDが点滅します。その後、組み込み WI-FI アクセスポイントが正常に動作していることを示すために、点灯したままになります。

IP アドレスの Ping 方法

この機能はネットワークに接続されたデバイスとのネットワーク接続を確認するために使用されます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

System (システム) > Ping をタップします。

ボックスをタップして IP アドレスを入力します。



このアイコンをタップして開始。

CVIMONITORでIPアドレスにpingする方法

この機能は、ネットワークに接続されているデバイスとのネットワーク接続を確認するために使用されません。

コンピュータのデスクトップの起動バーから CVI MONITOR ソフトウェアを起動します。

関連するシステムのIPを入力し、[選択]をクリックします。



このアイコンをクリックすると、画面が表示されます。

[Ping] を選択します。

IPアドレスを入力します。

緑色のチェックマークは、ping が成功したことを示します。

フィールドバスモジュールの取り付け

- ① 操作ミスが発生すると、接続の問題や電気接触の劣化が引き起こされる可能性があります。

Desoutter の技術者がモジュールを取り付けることを強く推奨します。

サポートについては、Desoutter の担当者にお問い合わせください。

1. システムの電源を切ります。
2. システムの底面パネルのフィールドバスコネクタの位置を確認します。コネクタは灰色のカバーで保護されています。
3. カバーを取り外してください。

4. フィールドバスモジュールを慎重にその位置に押し込みます。
5. T9トルクスドライバを使用して2本のネジを締め付けます。
6. システムの電源を入れます。

① フィールドバスモジュールが所定の位置に入っていない場合、カバー取り付けておく必要があります。

ユーザーマニュアルをご覧ください (印刷物: 6159931440) (納品時に同梱)、または <https://www.desouttertools.com/resource-centre> から入手可能です。

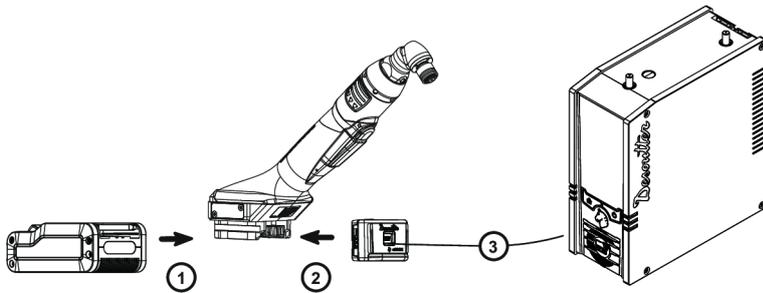
eDOCKを介したペアリングツール

バッテリーパックをツールに取り付けます。

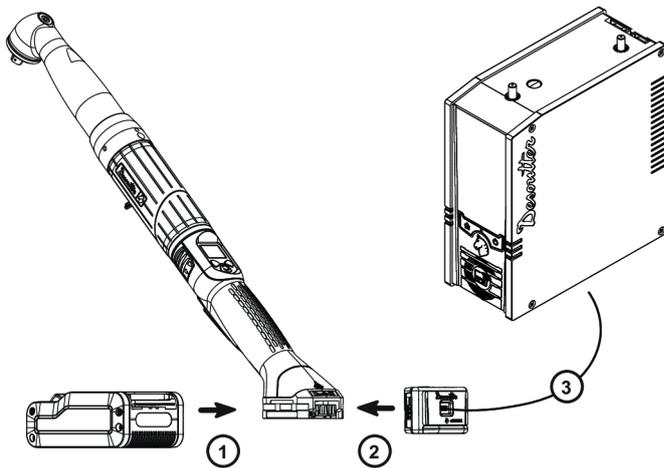
eDOCK をツールとCONNECT のUSBポートに接続します。

① 接続順を守ってください。

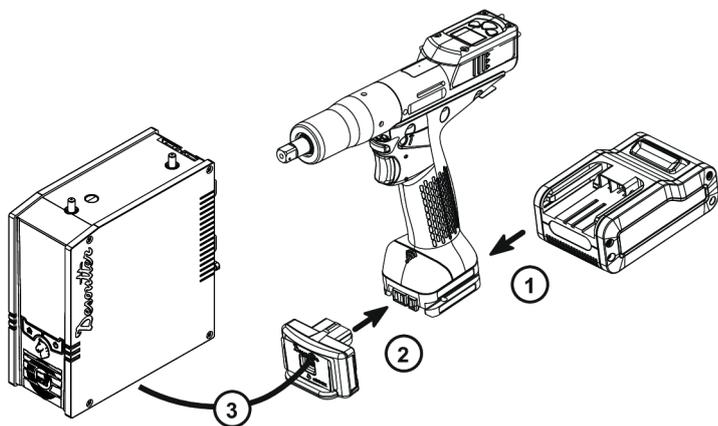
EABS



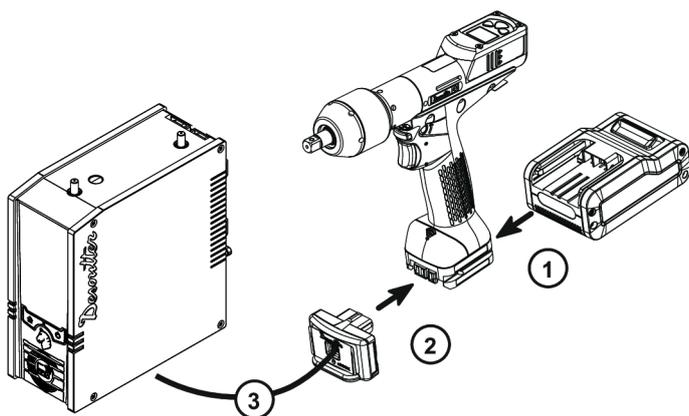
EABC



EPBC

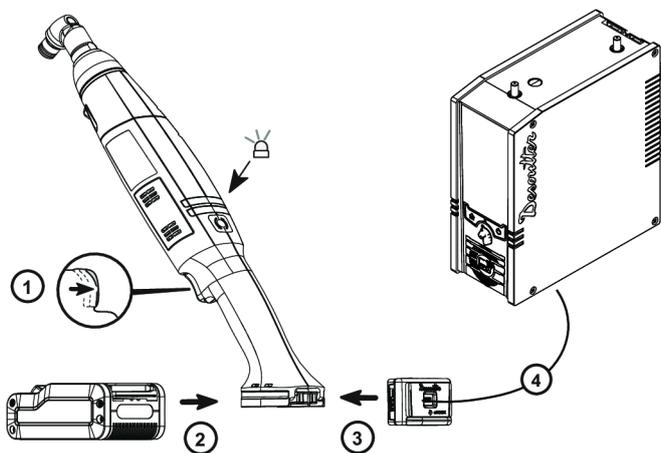


BLRTC



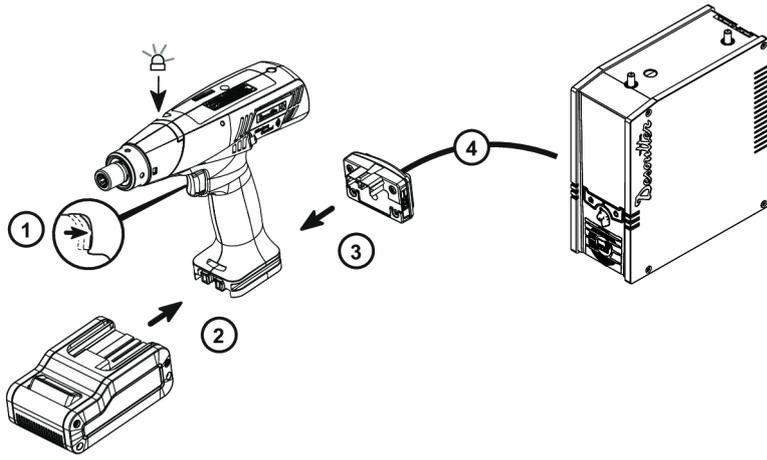
ELC-A-W

① バッテリーパックを挿入しながらトリガーを引きます。レポートLEDが点滅します。



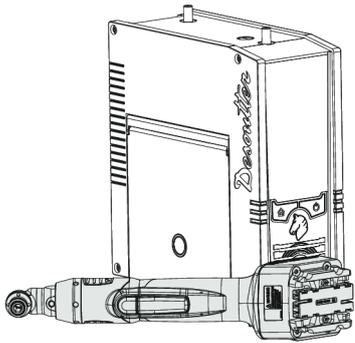
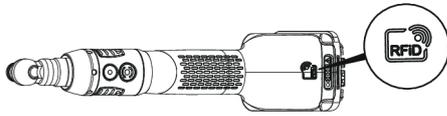
ELC-P-W

① バッテリーパックを挿入しながらトリガーを引きます。レポートLEDが点滅します。

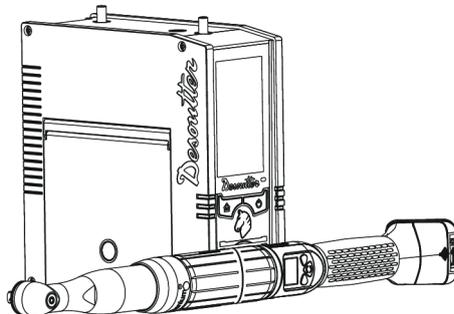
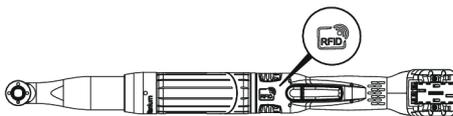


RFIDを介したペアリングツール

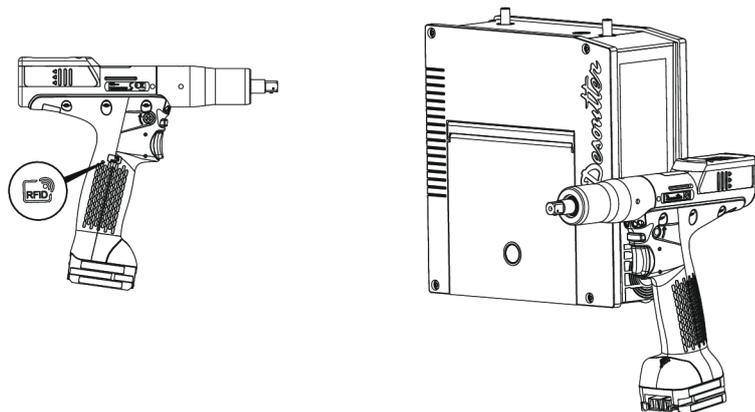
EABS



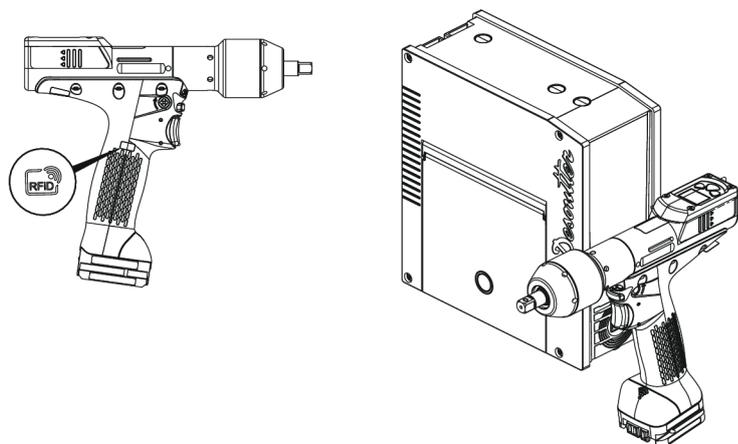
EABC



EPBC



BLRTC



初期構成

名称、トルクの単位、速度の単位、キーパッドのビープ音、スリープモード



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [ユーザーインターフェイス] > [ディスプレイ] をタップします。

CONNECTの名前をカスタマイズします。

トルクの単位を選択します : Nm、ft lb (フィートポンド)、in lb (インチポンド)、kg m、kg cm、oz in (オンスインチ)。

速度単位 (rpm または最大工具速度の%) を選択します。

「キーパッドのビープを有効にする」にチェックマークを入れる/外すと、ビープ音を有効/無効にできます。

バックライト自動オフ

(スリープモード) タイムアウト後、画面は自動的にオフになります。

画面をタッチするか、締付け結果が表示されると画面がオンになります。

バックライトタイムアウト

自動スイッチオフのタイムアウト値は、1~60分の間で設定できます。



このアイコンをタップして認証します。

日時、同期の設定

締め付けの結果が確実に正しい日時に保存されるようにするため、システムの日時を同期するのにこの機能を使用します。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

System (システム) > User interface (ユーザーインターフェース) > Date and time (日時) をタップします。

必要な場合、現在の日時のボックスをタップして更新します。

日時の形式を選択します。

- DD/MM/YY hh:mm:ss
- YY/MM/DD hh:mm:ss
- MM/DD/YY hh:mm:ss

「Sync source (ソースの同期) 」を選択すると CONNECT の日時が設定されます。

例：「Sync source (ソースの同期) 」が「CVI CONFIG」に設定されると、CONNECT の日時はデータ転送中に更新されます。

- なし
- CVI CONFIG
- CVINet
- フィールドバス
- イーサネット プロトコル
- Server NTP --> サーバーのアドレスとタイムゾーンを入力します。
- Toolsnet



このアイコンをタップして認証します。

言語の変更方法



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

System (システム) > User interface (ユーザーインターフェース) > Language (言語) をタップします。

次の言語が使用できます。

英語

ロシア語

フランス語

ポルトガル語

スペイン語	オランダ語
ドイツ語	ポルトガル語 (ブラジル)
スウェーデン語	韓国語
イタリア語	ベルシャ語
日本語	チェコ語
中国語	トルコ語
ポーランド語	

言語を選択します。



このアイコンをタップして認証します。

PC またはスマートフォンに遠隔表示させる方法

PC/Windows

無料のリモートコントロールソフトウェアパッケージである**TightVNC viewer**を使用して、締め付け製品の表示を確認し、ローカルのマウスとキーボードで制御します。

Webサイト<http://www.tightvnc.com>にアクセスして、説明に従ってください。

ソフトウェアがダウンロードされたら、「スタート/すべてのプログラム/TightVNC」フォルダに移動します。

「TightVNC Viewer」をクリックします。

締め付け製品のIPアドレスを入力し、「接続」をクリックします。

これで、PCからディスプレイを制御できます。

例：



Apple

デバイスに無料のアプリケーション**Mocha VNC Lite**をインストールします。

締め付け製品に接続されたWi-Fiアクセスポイントをセットアップします。

SSID/パスワードを設定します。

アクセスポイントのIPアドレスを設定し、締め付け製品に接続します。

締め付け製品のIPアドレスを確認してください。

Appleデバイスで、Wi-Fiネットワークを設定します。



締め付け製品のアクセスポイントのSSIDに接続します。

次に、詳細ビューに移動します。

DHCPから静的に移動します。

デバイスのIPアドレスとサブネットマスクを、締め付け製品に対して行われた内容と関連付けて入力します (例: 192.168.5.100)。

これで、デバイスは締め付け製品と通信することができます。

App Storeにアクセスして、無料アプリ「Mocha VNC Lite」をダウンロードします。

アプリで新しい構成を作成し、「VNCサーバーアドレス」ボックスに締め付け製品のIPアドレスを入力します。

「接続」をクリックします。

これで、PCからディスプレイを制御できます。

アンドロイド

デバイスに無料のアプリケーション**bVNC**をインストールします。

Appleデバイスの場合と同じ手順を踏みます。

操作

構成手順

締め付けユニットの作成方法

- ① ツールごとに1つの締め付けユニットを作成します。
- ① 開始前に、予定の構成に対して RIMに十分なUVsが有ることを確認してください。。そうでない場合は、UVをRIMにリバランスする [ページ 71]の章に進んでください。

CVI CONFIG を起動させます。

- ① CONNECTをコンピューターにリンクする方法 [ページ 26]の章に示すとおり、CONNECTをコンピュータに差し込みます。

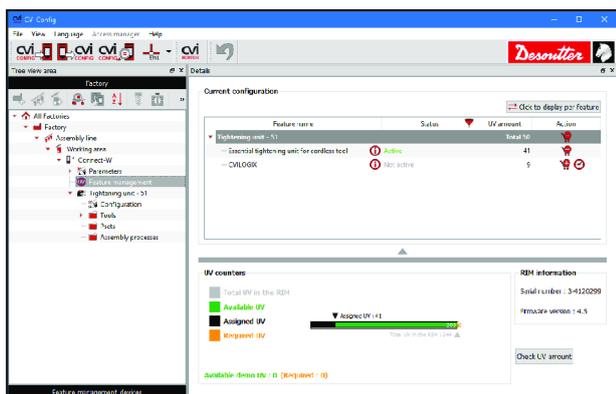
作業領域を作成し、右クリックしてCONNECT に追加します。

IPアドレスを入力して[更新]をクリックします。緑のチェックマークは、通信が確立されていることを示します。

CONNECTををクリックして、右クリックして締め付けユニットを追加します。

[機能管理]に進みます。

締め付けユニットを選択し、[有効化]をクリックします。



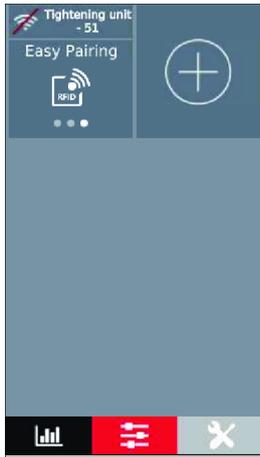
- ① 必要に応じて、CVILOGIX機能を有効にすることもできます。

 製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

ツールを締め付けユニットに関連付ける方法

ツールを駆動する締め付けユニットを選択します。

タイルをスワイプして、[簡単ペアリング]を表示させます。



eDOCKを介したペアリングツール [ページ 33]またはRFIDを介したペアリングツール [ページ 35]章に示すようにツールをペアリングします。

手順を開始するには、タイルの**簡単ペアリング**をタップします。

バッテリーパックを取り外してツールに差し込みます。



左上のWI-FIアイコンが有効化します。

ツールはこの締め付けユニットに関連付けられています。

CVI CONFIG へ行きます。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

簡単なPsetのセットアップ方法

実行モードを Pset に設定する



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

締め付けユニットをタップします。

リストから締め付けユニットを選択します。



このアイコンをタップして編集します。



ボックス**実行モード**に移動して**Pset**を選択します。



このアイコンをタップして認証します。

Pset をスタートするソースの選択



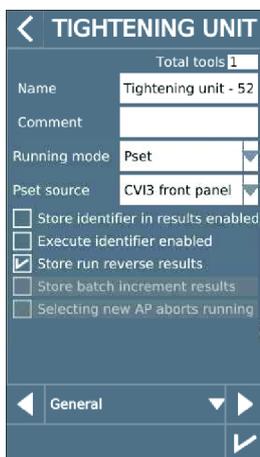
スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

締め付けユニットをタップします。

リストから締め付けユニットを選択します。



このアイコンをタップして編集します。



Psetソースボックスに行き、**[フロントパネル]**を選択します。

その他としては次が考えられます：

- I/O
- CVILOGIX
- Open Protocol
- フィールドバス

- カスタマイズされたプロトコル
- ツール表示



このアイコンをタップして認証します。

Psetの設定

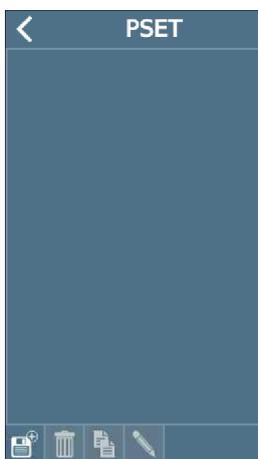
① ツールを接続する必要があります。

トリガー、逆方向実行ボタン、またはOKボタンを押して、ツールを起動したままにします。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

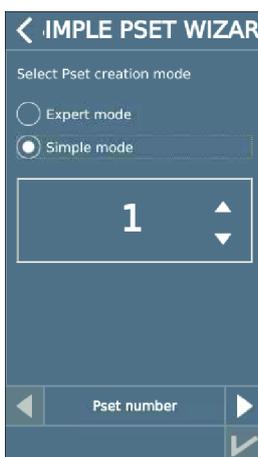
Psetをタップします。



ツールを駆動する締め付けユニットを選択します（例では締め付けユニット-51）。



このアイコンをタップします。



ツールを接続したままにします。

シンプルモードのチェックマークをオンにします。



このアイコンをタップします。



IMPLE PSET WIZARD

Pset number 1

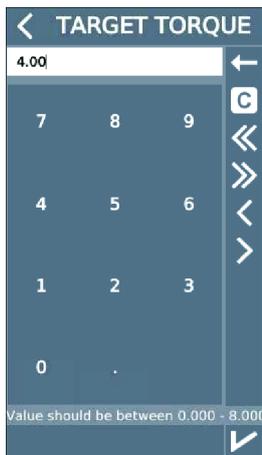
Pset name Pset

Control strategy Torque

Target torque 0.000 N.m

Pset

[目標トルク]ボックスをタップします。



TARGET TORQUE

4.00

7 8 9

4 5 6

1 2 3

0 .

Value should be between 0.000 - 8.000



このアイコンをタップしてボックスをクリアします。

目標トルクを入力します。



このアイコンをタップして認証します。



IMPLE PSET WIZARD

Pset number 1

Pset name Pset

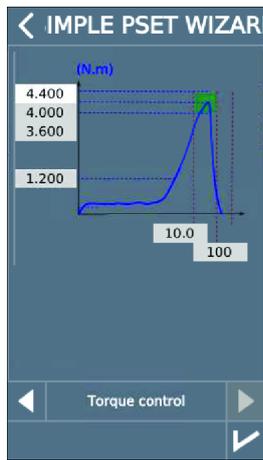
Control strategy Torque

Target torque 4.000 N.m

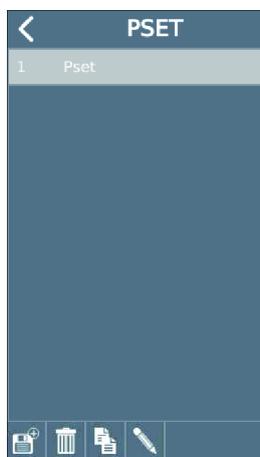
Pset



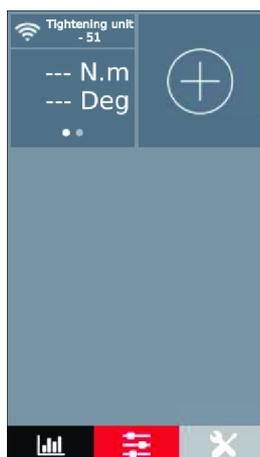
このアイコンをタップします。



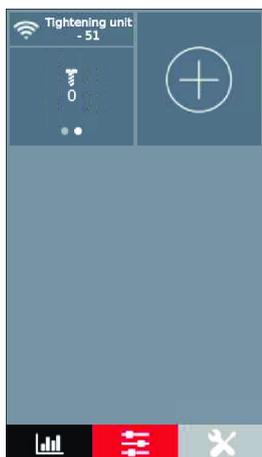
このアイコンをタップして認証します。



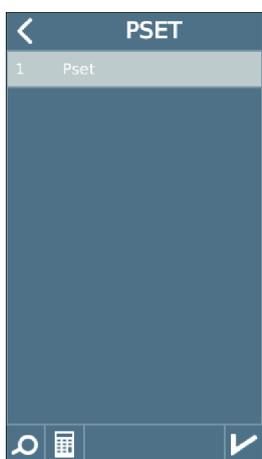
フロントパネルのこのボタンをタップしてスタート画面を表示します。



タイトルを右にスワイプして、Pset にアクセスします。



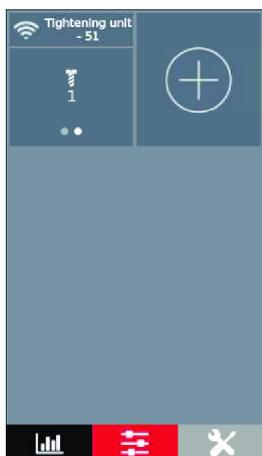
このアイコンをタップします。



リストから**Pset**を選択します。

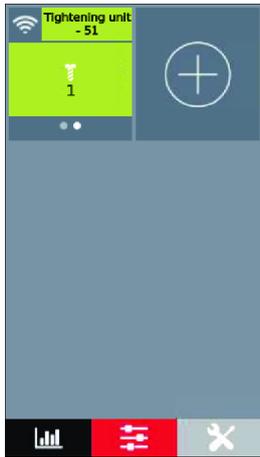


このアイコンをタップして認証します。



Psetの実行

ツールトリガを押してPset 1 を実行します。



タイルをスワイプして結果を表示します。



Tightening unit
- 51

タイトルのタイトルをタップします。

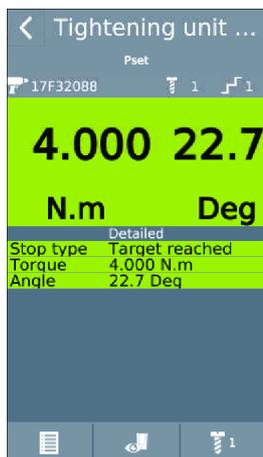
既定では、シンプルビューが表示されます。



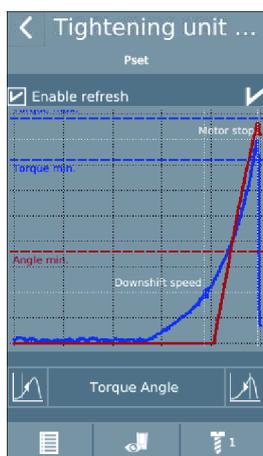
このアイコンをタップすると、他の表示可能なビューが表示されます

① ここで選択するビューは、次の締め付けの既定のビューになります。

詳細ビュー



曲線ビュー

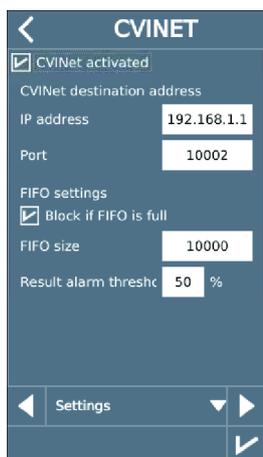


CVINET WEB データベースへの結果の送信



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [周辺機器] > [CVINET]をタップします。



[CVINET 有効化済み] のボックスにチェックマークを入れます。



このアイコンをタップします。

説明	パラメータ	工場出荷時の設定
CVINET WEBデータベースがインス トールされているサーバーまたはコ ンピューターの識別子。	IP address (IP アドレス) ポート	192.168.1.1 10002
FIFO 設定	FIFOがいっぱいの場合はブロック FIFOサイズ 結果アラームしきい値	有効 10000 50%

① システムは定期的に結果をCVINetに送信しています。

目的は、ネットワーク接続が不安定な場合でも完全なトレーサビリティを提供することです。

1. システムは、各締め付けユニットによって以前に生成された定義済みの数の結果（通常は10,000）を保持できます。

アラームしきい値は、サーバーに送信されずにFIFOメモリに保存されていないこれらの結果のパーセンテージに対応します。

2. 「FIFOがいっぱいの場合はブロック」オプションが有効になっている場合、FIFOレベルが100%になると締め付けユニットがロックされます。これにより、生成されたすべての結果のトレーサビリティが保証されます。接続が再確立され、FIFOレベルが100%未満になると、締め付けユニットのロックが解除されます。無効にすると、FIFOレベルが100%のときにロックは設定されず、すべての結果のトレーサビリティは保証されません。



このアイコンをタップして認証します。

簡単な組立工程のセットアップ方法

実行モードを組立プロセスに設定する



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

締め付けユニットをタップします。

リストから締め付けユニットを選択します。



このアイコンをタップして編集します。



ボックス実行モードに移動し、アセンブリプロセスを選択します。



このアイコンをタップして認証します。

組立プロセスの作成



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

組立工程をタップします。



このアイコンをタップします。



説明を入力します。

組立工程を開始するソースとしてフロントパネルを選択します。

その他としては次が考えられます：

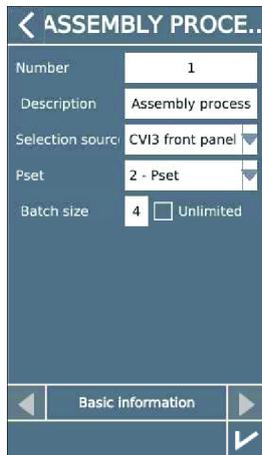
- I/O
- CVILOGIX
- オープンプロトコル
- フィールドバス
- カスタマイズされたプロトコル

- ツール表示

実行するPsetを選択します。

バッチサイズ、つまり、Psetが実行される回数を入力します：1～99または無制限。

例：



このアイコンをタップして認証します。

組立工程の実行



フロントパネルのこのボタンをタップしてスタート画面を表示します。

タイルをスワイプします。



タイルの本体をクリックします。

リストから組立工程1を選択します。



ツールは、Pset 1で組立工程1を実行する準備ができています。

ツールをジョイントに適用して締め付けます。

ツールのトリガーを押して、組立工程を実行します。

CONNECT へ行きます。



締め付け51をクリックして、表示選択にアクセスします。



このアイコンをクリックして、さまざまなタイプのビューにアクセスします。

楕円をクリックして、何が行われたかを確認します。



または、組立工程をクリックして、何が行われているのかを確認します。



組み立てプロセスが完了すると、ツールは再びロックされ、次のツールを待機します。



このアイコンをクリックするとツールがロックされている理由を表示させることができます。

フィールドバスのセットアップ方法

ユーザーマニュアルをご覧ください (印刷物 : 6159929610) <https://www.desouttertools.com/resource-centre> で入手可能です。

操作手順

進行中の組立工程でアクションを実行する方法

次のアクションはプロセス中いつでも実行できます。

- 中止
- バッチを増やす
- バッチを減らす
- バッチをリセット
- 再試行をリセット

もう一つの Pset または組立プロセスの変更方法



フロントパネルのこのボタンをタップしてスタート画面を表示します。

このタイプのディスプレイに移動します。

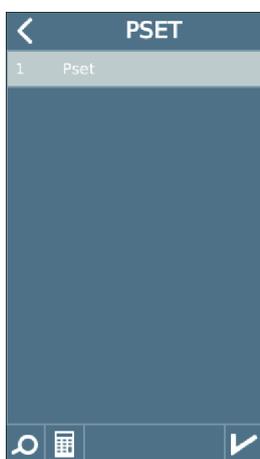
締付ユニットを選択します。



このアイコンをタップすると、使用可能な組立工程のリストが表示されます。



このアイコンをタップすると、利用可能なPsetsリストが表示されます。



リストからPsetまたは組立工程を選択します。

または



このアイコンをタップして、リストに表示されていない Psetを検索します。



このアイコンをタップして、デジタルキーボードにPset番号を直接入力します。



このアイコンをタップして認証します。

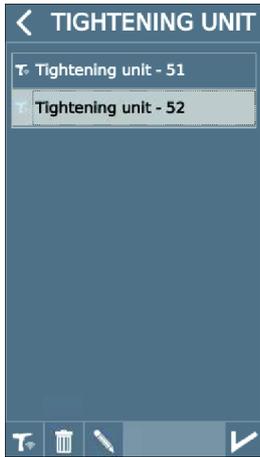
曲線を取得して読み取る方法

曲線の表示方法



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

締め付けユニットをタップします。



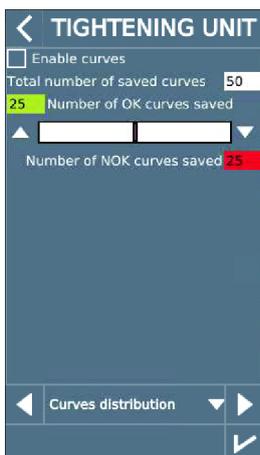
リストから締め付けユニットを選択します。



このアイコンをタップして編集します。



このアイコンを曲線分布の画面になるまでタップします。



[曲線の有効化]を選択します。

① 結果が代表的でない場合、曲線がない場合があります。



このアイコンをタップして認証します。

曲線の読み方



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

結果	トルク	日付	角度
✓ 20	4.005	04/06/2018	16.47.17
✓ 51	4.005		35.7
✗ 19	1.108	04/06/2018	16.47.09
✗ 51	1.108		0.0
✗ 18	1.370	04/06/2018	16.47.03
✗ 51	1.370		20.9
✓ 17	4.015	04/06/2018	16.46.57
✓ 51	4.015		28.8
✓ 16	4.020	04/06/2018	16.46.47
✓ 51	4.020		26.4

結果20のトルク値をタップします。線が灰色に変わります。



このアイコンをタップします。



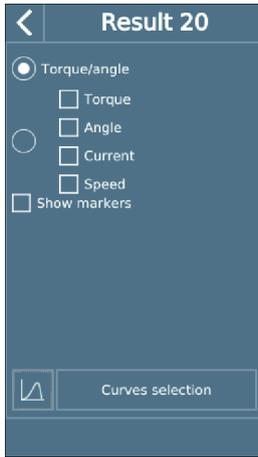
左側のアイコンをタップすると、最後の値に移動します。



右側のアイコンをタップすると、最初の値に移動します。



この領域をタップすると、結果に関する詳細情報が表示されます。



曲線が表示されるたびに、既定で必要な値にチェックマークを付けます。

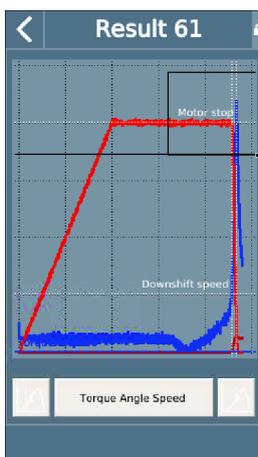
曲線の選択をクリックして、選択を確定します。

マーカを表示のチェックマークをオンにします。

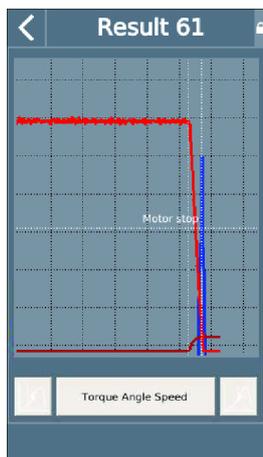
例：



カーブにズームインする方法



左上から右下にスライドさせて特定の領域を拡大表示します。



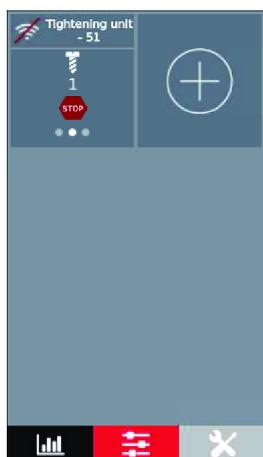
元の画面に戻るには任意の場所をクリックします。

ショートカットとヒント

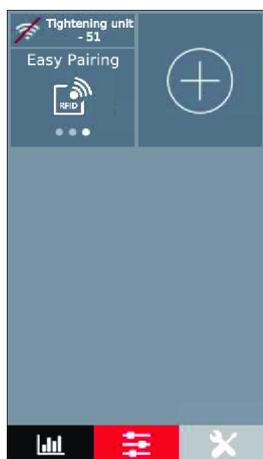
ツールを素早くペアリングする方法

ツールが接続されていない場合、つまり Wi-Fi のアイコンが有効でない場合、別のツールを素早くペアリングすることが出来ます。

Tightening unit - 51 (締め付け部位 -51) のツールがアクティブでないことをご確認ください。



タイルをスワイプして **Easy pairing** のショートカットを表示させます。



以前に説明したとおりの eDOCK または RFID でペアリングを実行します。

締め付けユニットの全画面表示にすばやく行く方法



Tightening unit
- 51

選択した最後のビューにアクセスするには、締め付けユニットの名前をクリックします。



このアイコンをクリックするとメインメニューにアクセスできます。



このアイコンをクリックして、さまざまなタイプのビューにアクセスします。

- シンプル
- 詳細
- 曲線

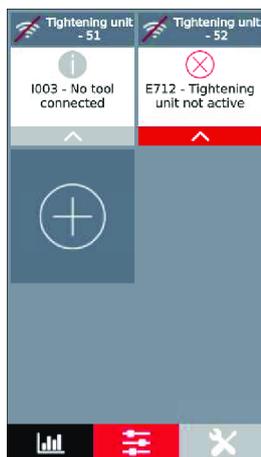


このアイコンをタップしてこの締め付けユニットで使用できるPsetsリストを取得します。
Psetを選択します。

タイルとポップアップメッセージのショートカットを使用する方法

① タイルのショートカットを処理する方法は、色に関係なく同じです。

例：



タイトルの本体をタップします。



このアイコンをタップすると、メッセージが非表示になります。



このアイコンをタップすると、QRコード (クイックレスポンスコード) が表示されます。

終了するには、画像をタップします。



このアイコンをタップして、メッセージをクリア (確認) します。



このアイコンをタップすると、手順が表示されます。

ネットワークインターフェイス (CONNECT) をすばやく選択する方法

ツリービューに移動します。

製品を選択します。

最上部のツールバーに移動します。



このアイコンを右クリックして、インターフェースを選択します。

次を選択します :

- イーサネット1
- イーサネット2 (定義されている場合)
- WI-FI (CONNECT-W)

CVIMONITORによる結果監視

CVIMONITORは以下の表示を可能にします :

- リアルタイムの結果、ステップごとの詳細表示、およびツール停止の理由。
- 結果曲線
- 結果の詳細情報
- 結果履歴

コンピュータのデスクトップの起動バーから CVI MONITOR ソフトウェアを起動します。
関連するシステムのIPを入力し、[選択]をクリックします。



このアイコンをクリックすると、画面が表示されます。

上部バーのメニューに移動し、[表示/監視]をクリックします。

便利の良い時に表示させることの出来るビューを選択します。



このアイコンをクリックすると、リアルタイムの更新が無効になります。



このアイコンをクリックすると、リアルタイムの更新が有効になります。

リアルタイムの結果

特定のツールについての結果が表示されます。



ツールレポートはOKです。



ツールレポートはNGです。

許容誤差はツールの結果の下に表示されます。

次の追加情報が表示されます：

- ツール番号
- ツールのシリアル番号 (メーカーデータ)
- ツール停止ソース (ターゲットに到達したか、NGの理由)
- ケーブルシリアル番号 (メーカーデータ)

① 1つの締め付けユニットに複数の工具があるシステムの場合、グローバルレポートはすべての工具結果の集計結果となります。

すべてのツールレポートがOKの場合、グローバルレポートはOKになります。

1つ以上のツールがNGの場合、グローバルレポートはNGとなります。

ステップステータスは、特定のステップの結果を示します。



ステップレポートはOKです。



ステップレポートはNGです。

① 締め付け結果に「ステップごとの結果」を記録するには、ステップの一般的なパラメータで「結果を保存」ボックスをチェックしていることを確認してください (CVI CONFIGで行います)。

次の追加情報が表示されます：

- トルクと角度 (体系的に監視)
- その他の監視は次のとおりです：
- ピークトルク

- 最終角度
- 最後の電流チェック
- スリップオフ
- スティックスリップ
- 時間
- ランダウン角度
- トルクレート
- ステップ番号
- ステップ停止ソース (ターゲットに到達したか、NGの理由)

結果曲線

結果の曲線は、システムによって保存された最後の20本の曲線です。

① OK/NG 曲線の分布は、システムまたはCVI CONFIGで設定された構成によって異なります。



曲線の作業を行う前に、このアイコンをクリックしてください。



このアイコンをクリックして、結果を.csvファイルにエクスポートします。



このアイコンをクリックして曲線を印刷します。

表示する曲線のタイプを [トルク/角度] ドロップダウンボックスから選択します。

- 時間曲線
 - 時間に対するトルクと角度
 - 時間に対するトルク、角度、電流
 - 時間に対するトルク、角度、電流、速度
 - 時間に対するトルクレート

- トルク/角度

- トルク/全体角度

このタイプは、いくつかのステップにかけての角度、または締め付け開始からの角度を確認するために使用します。

コントロールマーカーを使用して、たとえば、トルクピーク、最終角度、目標トルクレートなどに焦点を合わせます。

モニタリングマーカーを使用して、たとえば、モーター停止等を表示させます。

[すべて] のドロップダウンボックスで、[すべてのステップまたは特定のステップのカーブ] を選択して表示させます。



ズームアウトするには、このアイコンをクリックします。



ズームインするには、このアイコンをクリックします。
 マウスを使用して領域を描画します。
 マウスを使用してポイントを追跡し、特定の領域にマークを付けます。
 マウスの右クリックを使用して、前のビューに戻ります。



勾配情報は、曲線の右側に表示されます。



このアイコンをクリックして、[ズーム] または [勾配] をクリアします。

結果の詳細情報

この画面では、締め付けプロセスをリアルタイムで監視できます。

次の詳細を表示できます：

- システム名
- Pset番号
- 組立工程番号
- バッチカウント数
- 日付と時刻
- 結果番号
- 結果名
- コメント
- 締め付けユニット名
- 識別子名 (最大10個の異なる識別子をバーコードでスキャンするか、 Open Protocol /フィールドバス/ CVILOGIX)で送信が可能です。)

結果履歴

この画面には、最新の100件の結果の概要が表示されます。

- 結果ID (ステータスと番号)



レポートはOKです。



レポートはNGです。



緩め作業

- ツール番号

- トルク値

- 角度値

[結果の読み込み]をクリックして、ツールから最新の100件の結果をアップロードします。

[結果をCSVにエクスポート]をクリックして、既定で結果をC:\Program Files (x86)\Desoutter\CVI CONFIG\cvi3monitorにあるファイルに保存します。

結果の表示方法と読み方

締め付け結果の表示



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

結果番号	日時
16	22/01/2018 17:59:58
52	6.354 32.1
15	22/01/2018 17:28:56
52	6.438 14.5
14	22/01/2018 17:28:49
52	0.750 0.0
13	22/01/2018 17:28:42
52	6.417 16.4

緑色のラインの場合レポートの結果が OK であることを示します。

赤のラインの場合レポートの結果が OK であることを示します。

選択時にラインがグレーになった場合。

結果当たり 2 本のラインがあります：

- 最初のラインは結果の番号と結果の日時を表示します。
- 2 本目のラインは締め付け装置の番号とトルク/角度の値を表示します。

Tightening unit (締め付け部位) 当たり最大 20,000 個の結果を保存できます。

矢印でリストをスクロールします。

最後の結果が表示され、最も最近の結果が最上部に表示されます。

結果の数は最上部に表示されます。



別の Tightening unit (締め付け部位) を表示するにはこのアイコンをタップします。

特定の結果の検索



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

RESULTS			
Nb results: 20			
✓ 20	04/06/2018	16:47:17	
51	4.005	35.7	
⊗ 19	04/06/2018	16:47:09	
51	1.108	0.0	
⊗ 18	04/06/2018	16:47:03	
51	1.370	20.9	
✓ 17	04/06/2018	16:46:57	
51	4.015	28.8	
✓ 16	04/06/2018	16:46:47	
51	4.020	26.4	



結果を選択して、このアイコンをタップします。

Result 20 - 51	
Target reached	
17F32088	
Pset	1
Torque	4.005 N.m
Angle	35.7 Deg
04/06/2018 16:47:17	

次の結果が表示されます：

- 停止のソース
- ツールのシリアル番号
- Pset 番号
- トルク値
- 角度の値



このアイコンをタップして次の結果を表示します。

結果のフィルタリング



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

Icon	Value 1	Date	Value 2
✓ 20	04/06/2018	16:47:17	
51	4.005	35.7	
⊗ 19	04/06/2018	16:47:09	
51	1.108	0.0	
⊗ 18	04/06/2018	16:47:03	
51	1.370	20.9	
✓ 17	04/06/2018	16:46:57	
51	4.015	28.8	
✓ 16	04/06/2018	16:46:47	
51	4.020	26.4	



このアイコンにチェックマークを入れます。

Filter Category	Selected Value
General status	All
Stop type	All
Torque trend	All
Angle trend	All
Current	All

下矢印をタップして条件を見ます。

次のフィルターを選択します。

ステータス一般

- すべて
- OK
- NOK
- 緩め
- 角度値

停止のタイプ

- すべて
- 停止無し
- 過電流
- トリガのリリース
- 外部または内部の停止
- Timeout (タイムアウト)

- 目標達成
- トルク中止/角度/トルクレート最小/トルクレート最大
- 全体的角度最大
- スティックスリップ検出
- スリップオフ検出
- リヒット検出
- 降伏点到達
- トルク/角度/時間停止
- 締付具交換トルク制限値
- ハードウェア故障
- 不明



このアイコンをタップして認証します。

ネットワークインターフェイス (CONNECT) をすばやく選択する方法

ツリービューに移動します。

製品を選択します。

最上部のツールバーに移動します。



このアイコンを右クリックして、インターフェースを選択します。

次を選択します：

- イーサネット1
- イーサネット2 (定義されている場合)
- WI-FI (CONNECT-W)

サービス

機能について

機能のステータスを読み取る方法

ステータス	説明
非アクティブ	この機能は締付けユニットの設定で構成されますが、[現在の構成]ペインでは有効化されません。
アクティブ	この機能は締め付けユニットの設定で構成され、かつ[現在の構成]ペインでアクティブになります。
利用可能	この機能は、締め付けユニットの設定ではこれ以上構成されず、[現在の構成]ペインでもアクティブではありません。

機能を追加する方法

① 次の手順は、あらゆる種類の機能に対して有効です。

ここで説明する例では、**最大 50 Psets** という機能を追加します。

CVI CONFIG を起動させます。

ツリービューに移動します。

CONNECT を選択します。

締付けユニット-51 を選択します。

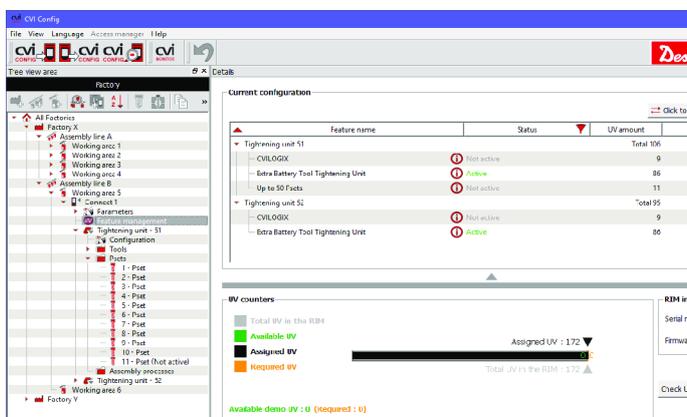
10 個のPsetsを作成します。

① 備考: CONNECTにUVsを追加しなくても、最大 10 個のPsetsを作成できます。11 番目のPsetから、**最大 50 Pset**の機能を購入する必要があります。

Pset を 1 つ追加します。

Pset 11 がアクティブでないことを確認してください。

ツリービューに移動し、**機能管理** をクリックします。



最大 50 Psets がアクティブになっていないことを確認します。



製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

「UV量をチェック」をクリックします。

必要に応じて、UVをRIMにリバランスする [ページ 71] 章で説明されている通りに RIMとUVsを入力します。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

ツリービューに移動し、機能管理 をクリックします。

これで使用できる UVs の数が表示されます。

一番上の現在の構成ペインに移動し、機能をクリックして選択します。



このアイコンをクリックします。

最大 50 Psets が アクティブになっていることを確認します。

Pset 11 はツリービューでアクティブです。



製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

バックアップデータの保存方法

USB キーに結果を保存する



結果のバックアップ中は絶対に締め付けを行わないでください。

底面パネルにUSBキーを差し込みます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [USB キー] > [保存] をタップします。

[結果を保存する] チェックボックスをオンにします。



このアイコンをタップして認証します。

システムから結果を削除する



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [メモリ] をタップします。

[結果を消去] をタップします。

確認を求めるポップアップが表示されます。

[はい] か [いいえ] をタップします。

RIM から結果を削除する



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[RIM] > [消去] をタップします。

確認を求めるポップアップが表示されます。

[はい] か [いいえ] をタップします。

既存の CONNECT のスナップショットを得る方法



バックアップ中は絶対に締め付けを行わないでください。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[RIM] > [バックアップ/復元] をタップします。

[手動バックアップ] を選択して、RIM中にCONNECTのスナップショットを作成します。

[バックアップ] を押してプロセスを開始します。

CONNECT データをリアルタイムで保存する方法



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[RIM] > [バックアップ/復元] をタップします。

各変更をリアルタイムで保存するには、[自動バックアップ]を選択します。

RIMはCONNECTのミラーとして機能します。

[スタート]を押します。

① 自動バックアップには最大で5分間かかります。

RIM から CONNECT へのデータ転送方法



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[RIM] > [バックアップ/復元] をタップします。

[復元]をタップして開始します。

ログの自動的な保存

底面パネルにUSBキーを差し込みます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [USB キー] > [高度な診断] をタップします。

時間単位で期間を選択します。

- 1時間
- 2時間
- 6時間
- 12時間
- 24時間

スタートをタップします。

UVについて

UV を RIM にリバランスする

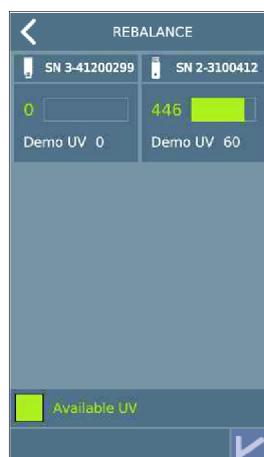


スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

Feature management (機能管理) > Rebalance (リバランス) をタップします。



eWallet を全面パネルの USB ポートに差し込みます。

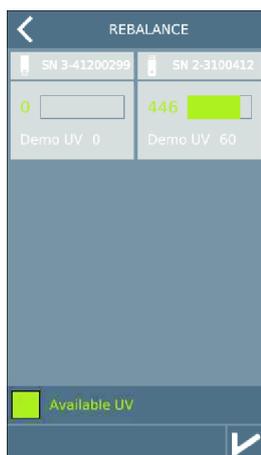


名前RIMやシリアル番号は変更することが出来ます。

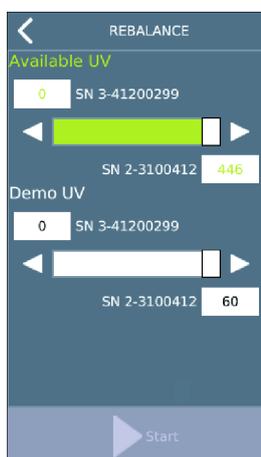
シリアル番号または名称、RIM をタップして新しい説明を入力します。

UV の個数 (この eWallet で使用できる数) をご覧ください。

両方のタイルをタップして選択します。



このアイコンをタップして認証します。



RIM のボックス「0」をタップするか、カーソルをスライドさせて UV のボックスを一杯にします。

ボタン「スタート」を押します。

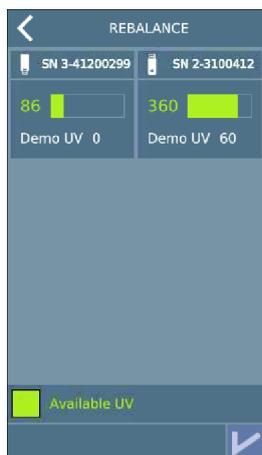
- ① リマインダ: Tightening unit (締め付け部位)を有効化するのに
86 個 UV が必要となります。



白いチェックマークは転送が完了したことを示します。



このアイコンをタップして終了。



RIM で 86 個の UV が使用可能かどうかを確認します。



フロントパネルのこのボタンをタップしてスタート画面を表示します。

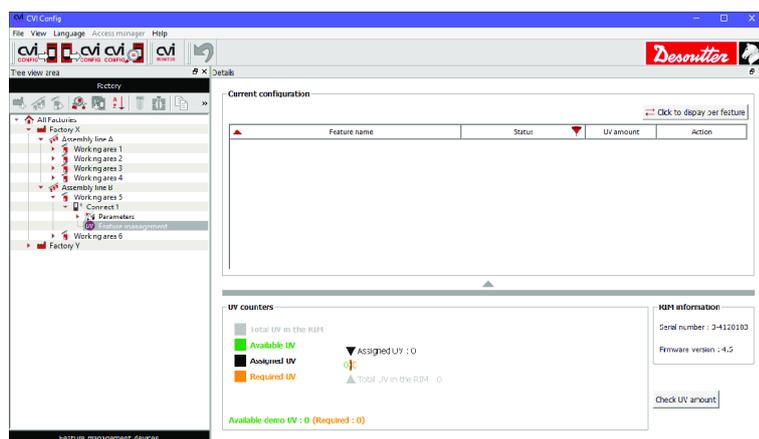
UVカウンターを管理する方法

CVI CONFIGを起動します。

CONNECT がコンピュータに接続されていることを確認します。

ツリービューに移動し、製品 CONNECT を作成します。

機能管理 をクリックします。



ボックスUV カウンタに移動します。

CONNECT に接続された RIM のシリアル番号とファームウェアバージョンが右側に表示されます。

使用可能な UV



前提条件: 計画した構成に必要な UVs の数が RIM に既に入力されていること。



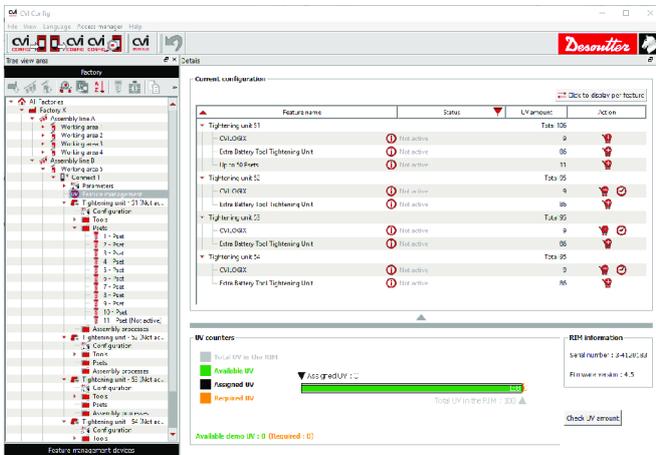
アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

ツリービューに移動します。

CONNECTを選択します。

締め付けユニット - 51に4つの締め付けユニットと Pset 11を追加します。

機能管理 をクリックします。

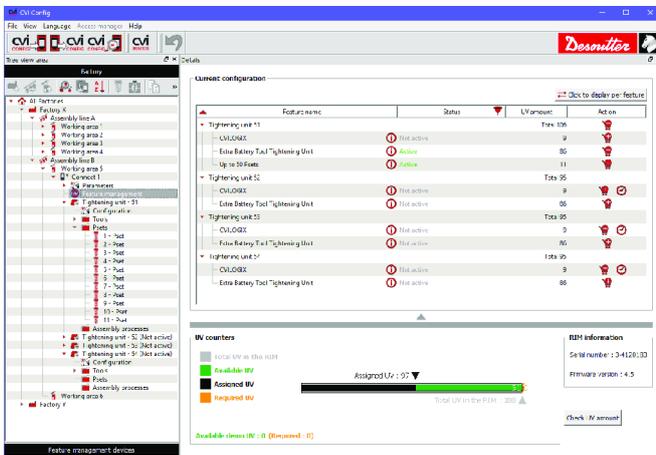


製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

ボックスUV カウンタに移動します。

188 UVs が使用可能なことにご留意ください。

締め付けユニット - 51 と最大 50 Psets 機能をアクティブ化します。

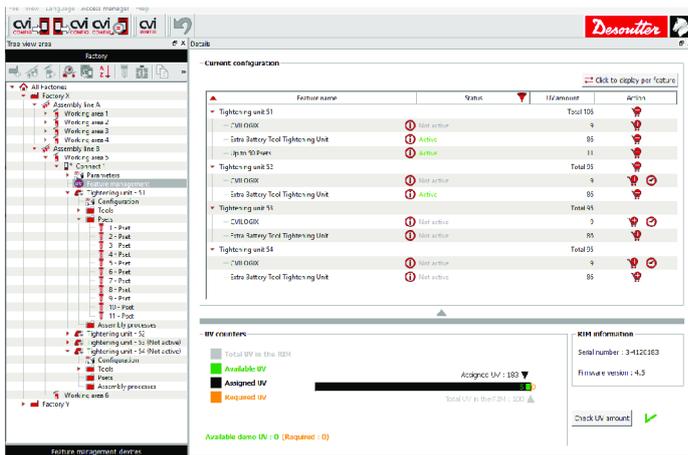


製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

97 の UVs が割り当てられており、91 UVsが引き続き使用可能であることにご留意ください。

割り当てられた UV

締め付けユニット - 52を起動します。

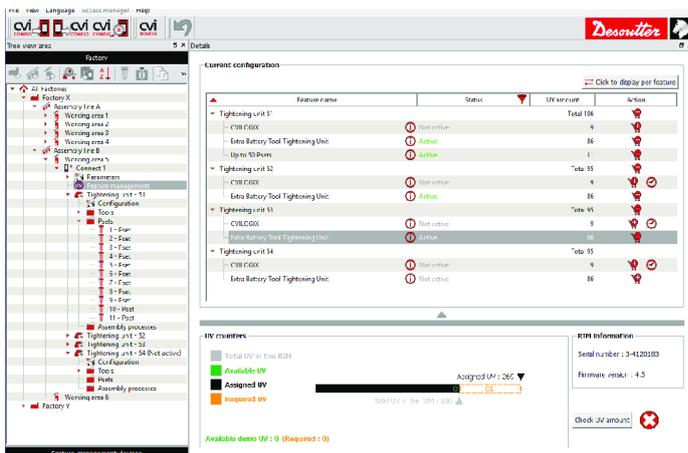


製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

183 の UVs が割り当てられており、5 UVs が引き続き使用可能であることにご注意ください。

必要な UV

締め付けユニット - 53 を起動します。



構成に合わせるために 81 UVs が必要であることを注意してください。

UV 量をチェック をクリックします。

赤い十字は、UVs が不足していることを示しています。

構成を CONNECT に転送することはできません。

CONNECT の RIM に必要な UVs を入力します。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

機能のアクティブ化を再開します。

UV グラフの読み方

CVI CONFIG を起動します。

CONNECT がコンピュータに接続されていることを確認します。

ツリービューに移動し、製品 **CONNECT** を選択します。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

機能管理 をクリックします。



記号	UVs数	色	説明
▲	188	グレー	この CONNECT の RIM 内に存在する UVs の総数。
▼	172	黒	この CONNECT に割り当てられた UVs の数。
■	26	緑	この CONNECT の RIM 内で使用可能な UVs の数。
■	0	オレンジ	この CONNECT の構成に必要な UVs の数。

① 割り当てられた UVs はリバランスできません。

機能を無効にして、使用可能にします。

UV 量を確認する方法

CVI CONFIG を起動します。

CONNECT がコンピュータに接続されていることを確認します。

ツリービューに移動し、製品 **CONNECT** を選択します。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。

機能管理 をクリックします。

UVs 量をチェック をクリックします。



UVs の数は、構成を受け入れるのに十分です。



UVs の数は、構成を受け入れるのに不十分です。

工場出荷状態リセット



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [メモリ] をタップします。

出荷時設定にリセットをタップします。

確認を求めるポップアップが表示されます。

[はい] か [いいえ] をタップします。

① UVsのみが RIMに保持されます。

メンテナンスに関する注意事項

清掃

必要な場合、乾燥した布を使用して外部パネルをクリーニングします。

メンテナンス プログラム

製品サポートおよびメンテナンス ソリューションを含む Tool Care プログラムについては、当社までお問い合わせください。

スペアパーツ

分解図および予備部品のリストは <https://www.desouttertools.com/resource-centre> でご覧ください。

メーカーが同梱しているものではない予備部品を使用すると、パフォーマンスが低下する恐れがあります、またメンテナンスの向上が図れなかったり、振動レベルの不必要な増加を招いたり、メーカーの責任が免除されることになりかねません。

読んでからメンテナンスを行ってください

⚠ 警告 接続に伴う危険

ツールが予期せず作動したために重傷を負う恐れがあります。

- ・ メンテナンス作業の前に、ツールを外してください。

資格を有する担当者でなければ、メンテナンスを実施することはできません。

標準のエンジニアリング プラクティスに従って実行し、システムの各種部品の分解および再組立を行う際には分解図を参照してください。

分解図に記されている次の指示を十分に注意してください。

注意: 再組立を行う際には、正しい方向で締め付けてください。



左スレッド



右スレッド

再組立を行う場合:



推奨する接着剤を塗布します。



必要なトルクになるまで締め付けます。



必要なグリースやオイルで潤滑します。歯車やベアリングに過度のグリースを塗布しないでください。薄い皮膜で十分です。

稼働状態に戻す前の点検

機器を再稼働させる前に、主要な設定が変更されておらず、安全装置が適切に作動することを確認してください。

ツールメンテナンス

ツールに関する情報取得

次の情報は読み取り専用モードでのみ利用可能です。

- ID
- 特性
- 構成
- 較正アラーム
- 温度アラーム

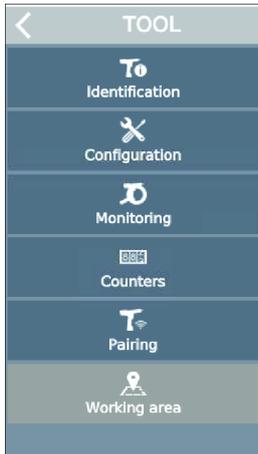


ツールを接続して画面を有効化させます。
トリガを押してツールを起動します。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

Tool (ツール) をタップします。



Tool (ツール) > Identification (ID) をタップします。

Tightening unit (締め付け部位)を選択します。

次の要素がツールを識別します：

- メーカー名
- 型式
- Serial number (シリアル番号)
- ユーザーのコメント
- ツールリリース
- ツール最大速度
- ツール最高速度
- 変速比
- ツール最大電流

矢印を使用して別のページを表示します。

ツールの characteristics (特性)：

- Tool type (ツールタイプ)
- ツールファミリー
- 製造日
- モータの種類
- アプリケーションのバージョン
- ハードウェアバージョン
- ブートローダーバージョン

Tool (ツール) > Configuration (構成) をタップします。

Tightening unit (締め付け部位)を選択します。

configuration (構成) は使用されているトリガとツールに取り付けられたアクセサリーをリストします：

- ハンドルトリガー

- フロントトリガー
- プッシュスタート
- クローフット
- チューブナット
- Torque Multiplier
- バーコードリーダー
- 前面のライト
- I/O アクセサリー

① ツール構成の変更は Desoutter 技術者のみが実施することが出来ます。
変更後のツール校正は必須です。

詳細とサポートについては、Desoutter の担当者にお問い合わせください。

ツール校正のステータスのモニタリング

 スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

Tool (ツール) > Monitoring (モニタリング) をタップします。



Tightening unit (締め付け部位)を選択します。

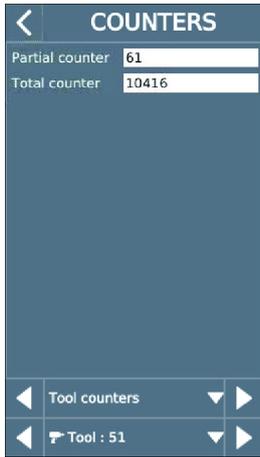
① 次の校正の日が来るとツールディスプレイにポップアップが現れて校正の実行を聞いてきます。
校正は Desoutter 技術者のみが実施することが出来ます。

詳細とサポートについては、Desoutter の担当者にお問い合わせください。

ツールカウンターのモニタリング

 スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

Tool (ツール) > Counters (カウンター) をタップします。



カウンター合計数は製造日以来の最小トルクを超えた締め付けとリバースの回数を表示します。

部分カウンターは前回リセット以来の締め付けとリバースの回数を表示します。

ツール温度のモニタリング



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

Tool (ツール) > Monitoring (モニタリング) をタップします。



このアイコンをタップします。



Tightening unit (締め付け部位)を選択します。

- ① アラームに達するとツールディスプレイにポップアップが現れます。モーターが熱すぎるためにツールがロックされました。
温度が低下するまでツールを使用しないでおきます。
トリガーを引いてツールがまだロック状態のままかどうかを確認します。

メンテナンスに関する注意事項

読んでからメンテナンスを行ってください

メンテナンスは有資格者のみが行ってください。

システムのさまざまな部分の分解と再組み立てについては、標準的な技術業務の慣行に従い、分解図を参照してください。

CONNECTのアップグレード

既存ファームウェアバージョンの確認



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[バージョン] をタップします。



このアイコンをタップして終了。

CVIMONITOR を使用したファームウェアバージョンの確認

コンピュータのデスクトップの起動バーから CVI MONITOR ソフトウェアを起動します。

関連するシステムのIPを入力し、[選択]をクリックします。



このアイコンをクリックして、システム情報を表示します。

ファームウェアのアップグレード

最新のファームウェアバージョンを取得するには、Desoutter 担当者にお問い合わせください。

ファイルを USB キーのルートにコピーします。

USBキーをフロントパネルに差し込みます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[システム] > [USB キー] > [SWをアップグレード] をタップします。

[はい] をタップします。

CONNECTは 2 秒間ビーブ音を鳴らし、プロセスが開始します。

CONNECTのスイッチをオフにしないでください。自動的に再起動されるのを待ちます。

更新には数分かかります。

アップグレードが正常に完了すると、フロントパネルの緑色の LED は点灯したままになります。

トラブルシューティング

ツール接続の喪失

ツールとの接続が失われた場合、画面は次の通りとなります。



左上の Wi-Fi アイコンが有効化されていません。

ツールは接続されなくなりました。



このアイコンをクリックするとツールがロックされている理由を表示させることができます。

Tightening Unit (締め付け部位)が有効でない場合の対処法



上記の締め付けユニット-53がアクティブでないことを確認してください。

ツールはペアリングできますが、実行されません。

機能管理メニューに移動し、必要なUVsを RIM にバランス再調整します。

イーサネットケーブルをCONNECTの任意のイーサネットポートとコンピュータに接続します。

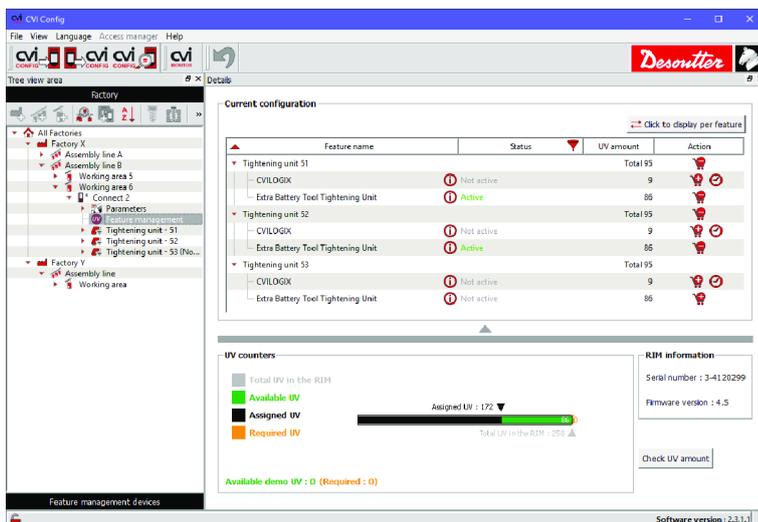
CVI CONFIG を起動させます。

関連するCONNECTを選択します。

機能管理 をクリックします。



アイコンをクリックして CVI CONFIG を更新します。



一番右上の現在の構成ペインに移動し、アクティブにする機能を選択します。



このアイコンをクリックします。



製品を更新するにはこのアイコンをクリックします。

CONNECT に移動し、画面をタップしてスリープ解除します。



フロントパネルのこのボタンをタップしてスタート画面を表示します。



締め付けユニットがアクティブになります。

既存の RIM を別の CONNECT に使用する方法



RIMを抜き取る前に、[メンテナンス]> [RIM] に移動して「イジェクト」を選択します。

RIMを別のCONNECTに差し込みます。

バックアップまたは復元を聞いてくるポップアップが表示されます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

[RIM] > [バックアップ/復元] をタップします。

[復元] を押して、CONNECTの内容を上書きします。

CONNECTは自動的に再起動します。

CVIMONITORでユーザーログを表示する方法

CVIMONITORにより接続システムのユーザーログ履歴を表示できるようになります。

主な問題ごとに問題解決のガイダンスが表示されます。

リスト形式については、このマニュアルの「ユーザー情報のリスト」の章を参照してください。

コンピュータのデスクトップの起動バーから CVI MONITOR ソフトウェアを起動します。

関連するシステムのIPを入力し、[選択]をクリックします。



このアイコンをクリックすると、画面が表示されます。

上部バーの[表示]をクリックして、[詳細]ウィンドウを表示します。

タイプ	色	説明	アクション
情報	白	情報提供用のみ。	アクション不要。
警告	オレンジ	ツールはロックされています。	メッセージをクリックしてメッセージをクリア (確認) し、ツールのロックを解除します。
エラー	赤	ツールはロックされています。	ツールのロックを解除してエラーメッセージをクリアするには、問題を解決する必要があります。

列のタイトルをクリックして、説明、日付、IDで並べ替えます。

フィルターを使用すると、ユーザー情報のタイプに焦点を当てることが出来ます。

特定のトピックを検索するには、[詳細]を選択します。

[詳細]ウィンドウで、[リンク]をクリックすると、解決するための手順の詳細情報が得られます。

「Desoutterサポート」のWebサイトにリダイレクトされます。

[ユーザー情報ファイルの読み込み]をクリックして、既存のユーザー情報ファイルをデフォルトで `C:\Program Files (x86)\Desoutter\CVI CONFIG\cvi3monitor` からアップロードします。

*.txtファイルはCVIMONITORによって保存されました。

*.zipファイルは、システムのログ保存機能によって保存されています。

[ユーザー情報ファイルの保存]をクリックして、`User info_2020_06_02.txt` ファイルをデフォルトで `C:\Program Files (x86)\Desoutter\CVI CONFIG\cvi3monitor` に保存します。

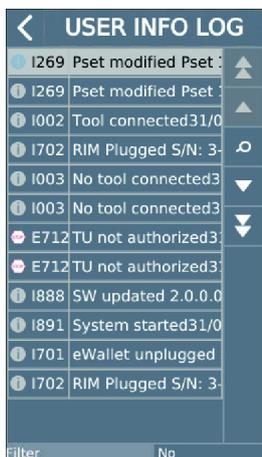
ユーザー情報を使用したシステムの監視方法

ユーザー情報を使用してシステムによって実行されたすべての動作を監視・分析します。
例えば、ツールがペアリングされた場合、またはPset が変更された場合に確認することが出来ます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

System (システム) > User info log (ユーザー情報ログ) をタップします。



最も最近のイベントは最上部に表示されます。



ログを選択して、このアイコンをタップすると詳細が得られます。

上下の矢印でリストをスクロールします。

Filter (フィルター) のボックスにチェックマークを入れるとフィルターオプションが表示されます。

- いいえ
- 情報
- 警告
- エラー

リストの内容すべてを見るには「ユーザー情報のリスト」の章をご覧ください。

Desoutter サポートに送る情報

製品が正しく機能していないと思われる場合、または予期しない動作に遭遇した場合、Desoutter 担当者まで是非お問い合わせください。

その際、結果、ログ、構成を含んだ zip ファイルを送信いただけるようお願いいたします。

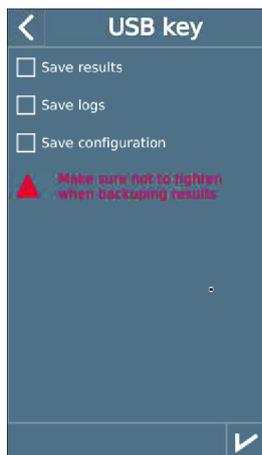
以下のとおりに進めてください。

USB キーを最下部パネルに差し込みます。



スタート画面に移動し、このアイコンをタップします。

System (システム) > USB key (USB キー) > Save (保存) をタップします。



すべてのボックスにチェックマークを入れます。



このアイコンをタップして認証します。

USB キーを取り外してご使用のコンピューターに差し込みます。

USB キーのルートに行ってすべてのフォルダーを1つの zip にまとめます。

この zip ファイルを Desoutter 担当者までお送りください。

ユーザー情報のリスト

システム関連のユーザー情報のリスト

タイプ	色	説明	アクション
情報	白	情報提供用のみ。	アクション不要。
警告	オレンジ	ツールはロックされています。	メッセージをクリックしてメッセージをクリア (確認) し、ツールのロックを解除します。
エラー	赤	ツールはロックされています。	ツールのロックを解除してエラーメッセージをクリアするには、問題を解決する必要があります。

番号	説明	手順
I001	チューブナット開	1 - チューブナットツールが開いていることが検出されました。
I002	ツール接続	1 - ツールが接続されており、システムによって正しく認識されています。

番号	説明	手順
I003	ツール接続なし	<p>1 - ツールが接続解除されました。</p> <p>2 - ツールが物理的に外れていない場合は、ツールケーブルを確認してください。</p>
I015	拒否時のツールロック	<p>1 - ツールはNG後に前方向にロックされています。2 - 「拒否オプションでロック」の機能選択（つまり、反転、緩め、入力）でツールのロックを解除します。</p>
I016	Open Protocolによるツールロック	<p>1 - ツールはOpen Protocolによってロックされています。</p> <p>2 - オープンプロトコルを介して「ツールの有効化」メッセージを送信して、ツールのロックを解除します。</p>
I017	緩め禁止	<p>1 - 緩めは禁止されています。</p> <p>2 - アセンブリアクションで緩めが無効化されています。</p> <p>3 - バッチカウントタイプOK + NGが使用されます。</p>
I021	最大再試行回数に達しました	<p>1 - 最大再試行回数に達しました。</p> <p>2 - ツールはロックされています。</p> <p>3 - 実行中の組立工程を中止する必要があります。</p>
I022	ロック待機ソケット	<p>1 - ツールはロックされています。すべてのソケットを元に戻し、正しいソケットの組み合わせを持ち上げます。</p>
I024	緩め禁止 XML	<p>1 - 緩めはVWXMLプロトコルによって無効になっています。</p>
I025	締め付け禁止 XML	<p>1 - 締め付けはVWXMLプロトコルによって禁止されています。</p>
I040	ツールオーバースピード	<p>1 - モーター速度が最大値の130%を超えています。</p> <p>2 - ツールのパラメータを確認してください（間違ったモーター調整パラメータ）。</p> <p>3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
I042	ジオポジショニングシステムによってロックされたツール	<p>1 - ツールはジオポジショニングシステムによってロックされています。</p> <p>2 - 定義された領域内でツールを動かしてツールのロックを解除します。</p>

番号	説明	手順
I043	チューブナットのメンテナンス	1 - チューブナットの設定を再構成する必要があります。 2 - 手順については、Desoutterの担当者までお問い合わせください。
I044	ジオトラッキング/ポジショニング学習モードが進行中	1 - ジオトラッキング/ポジショニング学習モード。
I049	アクセスが拒否されました	手順はありません。
I050	ペアリング用ツールの検出	手順はありません。
I051	ePOD 接続済み	ePOD 接続済み。
I052	ネットワークパラメータが正しくありません	ネットワークパラメータが正しくありません
I053	使用可能な締め付けユニットなし	使用可能な締め付けユニットなし
I054	ペアリング成功	手順はありません。
I055	eDOCKは既にシステムに存在します	手順はありません。
I056	ePODの接続が解除されました	ePODの接続が解除されました
I057	ペアリングエラー	手順はありません。
I058	ジオトラッキングシステムによってツールがロックされました	1 - ジオトラッキングシステムによってツールがロックされました。 2 - 定義された領域内でツールを動かしてツールのロックを解除します。
I059	新しいツールが検出されました	手順はありません。
I060	ツール同期が進行中	手順はありません。
I061	ExBC接続の競合	1 - 2つの ExBCは同じネットワーク設定で構成されています。 2 - 通信ポートとIPアドレスを確認してください。
I100	ケーブル ID パラメータが無効です	1 - ツールケーブルのパラメータが無効です。 2 - ツールケーブルが Desoutter 認定の物であることを確認してください。 3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
I101	ケーブルIDが検出されませんでした	1 - ツールケーブル通信エラー。 2 - ツールケーブルが Desoutter 認定の物であることを確認してください。 3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。

番号	説明	手順
I102	ケーブルIDが認証されていません	<p>1 - ツールケーブル認証エラー。</p> <p>2 - ツールケーブルが Desoutter 認定の物であることを確認してください。</p> <p>3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
I199	コンソールがアクティブ化されました	<p>1 - シリアルコンソールがアクティブ化されました。</p> <p>2 - 警告：このコンソールはデバッグ専用であり、製造には使用しないでください。</p>
I202	フィールドバス切断	<p>1 - PLCとのフィールドバス接続が切断されています。</p> <p>- PLC からのハートビートが受信されていません。</p> <p>- ケーブルが破損しているか、切断されています。</p> <p>- PLC がオフラインであるか、電源が入っていません。</p> <p>2 - フィールドバスの構成を確認してください。</p>
I204	ツールが検証されていません	<p>1 - ツールはI/Oによってロックされています。</p> <p>2 - I/O設定を確認してください：ツールのロックを解除するには、「ツールの検証」がアクティブである必要があります。</p>
I207	組み立て完了	<p>1 - 組み立て工程が完了し、ツールがロックされています。</p> <p>2 - 新しい組立工程を選択して、ツールのロックを解除します。</p>
I208	逆回転パラメータが無効です	<p>1 - 無効な逆回転設定：トルクまたは速度がツールの特性を上回っているか、ゆるめ戦略がサポートされていません。</p> <p>2 - 現在の工具特性でのPset設定を確認してください。</p> <p>3 - 最大回転数を減らします。</p>
I209	Pset無効パラメータ	<p>1 - ソフトウェア内部エラー。</p> <p>2 - Psetが破損しています。システムにもう一度転送してみてください。</p> <p>3 - エラーが解決しない場合は、Desoutter のサポート担当者までお問い合わせください。</p>

番号	説明	手順
I215	電流の校正エラー	<p>1 - 電流の校正に失敗しました。</p> <p>2 - もう一度やり直してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
I225	エラー角度	<p>1 - ツールの通信エラー</p> <p>2 - ツールとケーブル間の接続を確認してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
I226	エラートルク	<p>1 - ツールの通信エラーツールとケーブル間の接続を確認してください。</p> <p>2 - もう一度やり直してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
I234	フィールドバスの不一致	<p>1 - 構成で宣言されているフィールドバスモジュールは、システムに接続されているモジュールと同じではありません。</p>
I237	無効なデータ	<p>1 - フィールドバスマッピングに含まれる項目が多すぎます。</p>
I238	無効なアドレス	<p>1 - フィールドバスに影響を与えるデバイスアドレスが無効です。</p>
I239	通信設定が無効です	<p>1 - フィールドバス通信設定が無効です。</p>
I241	CVINET FIFOアラーム	<p>1 - CVINET FIFOがアラームしきい値に達したため、接続が失われました。</p> <p>2 - イーサネットケーブルを確認してください。</p> <p>3 - イーサネットの構成を確認してください。</p> <p>4 - CVINETが正しく動作していることを確認してください。</p>
I242	ToolsNet FIFOアラーム	<p>1- ToolsNet FIFOがアラームしきい値に到達しました、接続は切断されました。</p> <p>2 - イーサネットケーブルを確認してください。</p> <p>3 - イーサネットの構成を確認してください。</p> <p>4 - ToolsNetが正しく動作していることを確認してください。</p>
I244	アクセサリが切断されました	<p>1 - 指定されたアドレスのアクセサリがシステムのeBUSから切断されました。</p> <p>2 - アクセサリケーブルを確認してください。</p>
I245	待機レポート確認応答	<p>1 - 対応する入力でレポートを確認します。</p>

番号	説明	手順
I254	ドライブ通信エラー	1 - ドライブ通信でエラーが検出されました。 2 - システムを再起動してください。 3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。
I259	リセット入力アクティブ	1 - 「リセット」入力が有効です。 2 - 入力が「非アクティブ」に切り替わると、締め付けユニットがロック解除されます。
I261	IPMによってロックされています	1- IPMプロトコルがシステムをロックしました。 2 - IPMゲートウェイとの接続を確認してください。 3 - システムのIPM構成を確認してください。
I262	Open Protocol接続が失われました	1 - Open Protocol接続が失われました。
I263	ソケットトレイの競合	1 - この締め付けユニットでは、1つのPsetに複数のソケットの組み合わせを関連付けしないでください。
I264	ステップが多すぎます	1- Pset当たり、より多くのステップを可能にするために、ePOD3をシステムに接続してください。
I266	メッセージ :	ダイナミックテキストで受信した着信メッセージ。
I269	Psetが変更されました	手順はありません。
I271	外部ツール Pset選択済み	1 - 「外部ツール Pset」を選択したため、ツールがロックされています。
I275	無効なeCompass Pset	1 - チェックツールはジャイロスコープ (eCompass) と互換性があります。 2 - そうでない場合は、ジャイロスコープと互換性のあるツールを使用してください。 3 - それ以外の場合は、Psetを編集してジャイロスコープの設定を削除してください。
I310	識別子OK :	1 - 識別子が受信され、受け入れられました。 2 - 識別子が組立工程の開始条件と一致しています。
I311	識別子NG :	1 - 識別子が受信されました。 2 - 識別子が組立工程の開始条件と一致しません。

番号	説明	手順
I312	アクセスの期限切れ	<p>1 - USBキーのアクセス権を読み取ることができません。</p> <p>2 - キーを抜き取って、もう一度挿入してください。</p> <p>3 - 問題が解決しない場合、アクセス権ファイルは破損している恐れがあります。</p> <p>4 - 担当の「CVI Key」管理者までご連絡ください。</p>
I313	アクセスが無効です	<p>1 - USBキーのアクセス権を読み取ることができません。</p> <p>2 - キーを抜き取って、もう一度挿入してください。</p> <p>3 - 問題が解決しない場合、アクセス権ファイルは破損している恐れがあります。</p> <p>4 - 担当の「CVI Key」管理者までご連絡ください。</p>
I314	CVIKeyが差し込まれています	手順はありません。
I315	CVIKeyが差し込まれていません	手順はありません。
I316	バーコードが失われました	手順はありません。
I400	既定のネットワーク構成	1 - ネットワーク構成はデフォルトに設定されています。
I401	ネットワーク構成エラー	<p>1 - ネットワーク構成に失敗しました。</p> <p>2 - 設定を確認してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
I500	CVILOGIXのユーザー情報	CVILOGIXプログラムによって生成されたメッセージ。
I503	CVILOGIX	<p>1 - ツールはCVILOGIXによってロックされています。</p> <p>2 - CVILOGIXプログラムの状態を確認してください。</p> <p>3 - ePODがシステムに差し込まれていることを確認してください。</p>
I700	eWalletが差し込まれています	eWalletが差し込まれています

番号	説明	手順
1701	eWalletが差し込まれていません	<p>1 - eWalletのプラグが差し込まれていません。</p> <p>2 - キーを抜き取って、もう一度挿入してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
1702	RIMが差し込まれていません	RIMが差し込まれていません
1703	RIMが差し込まれていません	RIMが差し込まれていません
1888	システムソフトウェアが更新されました	手順はありません。
1889	システムソフトウェアが更新されました	手順はありません。
1891	システムが起動しました	手順はありません。
1899	ダウングレード不可	<p>1 - このバージョンではソフトウェアのダウングレードはできません。</p> <p>2 - USBキーのソフトウェアイメージのバージョンを確認してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
1900	ソフトウェアのアップグレードに失敗しました	<p>1 - ソフトウェアのアップグレードに失敗しました。</p> <p>2 - USB キーを抜き取らないでください。システムを再起動しないでください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
1901	ソフトウェアが見つかりません	<p>1 - ソフトウェアのアップグレードに失敗しました。ソフトウェアイメージが無効です。</p> <p>2 - ご使用のUSBキーを確認してください。ルートディレクトリにあるイメージは1つだけである必要があります。</p>
1902	ソフトウェアが無効です	<p>1 - ソフトウェアのアップグレードに失敗しました。ソフトウェアイメージが無効です。</p> <p>2 - ソフトウェアイメージを削除して、もう一度コピーしてください。</p> <p>3 - 別のUSBキーをお試しください。</p> <p>4 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。</p>
1903	ソフトウェアアップデートがありません	<p>1 - ソフトウェアアップデートが使用できないか破損しています。</p> <p>2 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。</p>

番号	説明	手順
1904	バックアップが無効です	<p>1 - 「パラメータの保存」ユーティリティが使用できません。</p> <p>2 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。</p>
1905	USBキーがいっぱいです	<p>1 - USBキーがいっぱいです。すべてのデータが保存されませんでした。</p> <p>2 - 古いバックアップファイルを削除して、もう一度やり直してください。</p>
1906	パラメータの保存に失敗しました	<p>1 - バックアップ中にエラーが発生しました。データが保存されませんでした。</p> <p>2 - キーの空き領域を確認し、ファイルを削除してからやり直してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
1907	USBポートが正しくありません	<p>1 - USBデバイスが正しくないポートに接続されています。</p> <p>2 - ご使用のデバイスがUSBキーの場合は、USBフロントポートに差し込んでください。</p> <p>3 - ご使用のデバイスがUSBバーコードリーダーまたはキーボードの場合は、一番下のUSBポートに差し込んでください。</p>
1908	HIDデバイスが多すぎます	<p>1 - システムに接続されているUSBデバイス (バーコードリーダーまたはキーボード) が多すぎます。</p> <p>2 - すべてのデバイスを取り外し、一番下のUSBポートにのみ再度差し込んでください。</p>
1909	HIDデバイスエラー	<p>1 - ご使用のUSBデバイスはシステムによってサポートされていません。</p> <p>2 - USBバーコードリーダーとUSBキーボードのみがサポートされています。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
1910	プログラム保存エラー	<p>1 - フロントパネルにUSBキーを差し込みます。</p> <p>2 - USBキーの空き容量を確認し、古いバックアップを削除してからやり直してください。</p>
1911	プログラム読み込みエラー	<p>1 - フロントパネルにUSBキーを差し込みます。</p> <p>2 - .zip ファイルが見つかりませんでした。正しいディレクトリにあることを確認してください。</p>

番号	説明	手順
I912	バックアップに失敗しました	1 - ePODの接続を確認してください。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
I913	復元に失敗しました	1 - ePODの接続を確認してください。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
I914	メンテナンスは進行中です。	メンテナンスは進行中です。
I917	アクセサリ構成エラー	1 - アクセサリの構成が正しくありません。 2 - 関連付けられている要素とイベントの種類を確認してください。
I920	システムリセット	ePOD自動バックアップをもう一度構成する必要があります。
I921	Pset 実行が許可されていません	1 - 使用済み機能の許容量を確認してください。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
I923	追加のトランスデューサオフセット障害	1 - 追加のトルクセンサーからのオフセット値が範囲外です。 2 - 機械的な制約なしにツールを再起動します。 3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。
I924	ツールの校正が必要です	1 - ツールの校正を実行します。
W041	未承認のツール	1 - システムに接続されているツールは承認されていません。 2 - バッテリーツールの最大数に達したか、関連付けられた締め付けユニットが存在していません。 3 - ePOD/RIMの接続と容量を確認してください。
W201	RTC電池を交換してください。	1 - 「リアルタイムクロック」バックアップバッテリーを交換する必要があります。
W214	短絡	1 - シリアル周辺機器のデフォルト。 2 - 切断して再接続します。 3 - シリアル周辺機器を確認してください。
W219	トリガー安全障害	1 - 駆動部のハードウェア障害。 2 - 安全上の問題。 3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。

番号	説明	手順
W220	ハードウェアトリップ	1 - 駆動部のハードウェア障害。 2 - 安全上の問題。 3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
W229	駆動部PWMエラー	1 - ソフトウェア障害。 2 - システムを再起動してください。 3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。
W246	同期I/O問題	1 - 同期入力でエラーが検出されました。 2 - I/Oの構成を確認してください。 3 - 同期ケーブルを確認してください。
W250	Psetが破損しています	1 - Psetが正しく定義されていません。 2 - Psetを確認してください。
W253	正しくないツールID	1 - Psetが正しく定義されていません。 2 - Psetで宣言されたツールの1つは、締め付けユニットの一部ではありません。 3 - Psetを確認してください。
W257	リモートスタートエラー	1 - ツールトリガーが正しく引かれていることを確認してください。
W258	校正にはPsetモードが必要です	1 - 工具を校正するには、締め付けユニットはPsetモードでなければなりません。 2 - 締め付けユニットモードを「Pset」モードに変更してください。
W276	データベースエラー	1 - データベースにアクセスできませんでした。 2 - データベースをクリアしてみてください。 3 - それでも問題が解決しない場合、Desoutterのサポート担当者までご連絡ください。
W726	Desoutterプロトコル：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W727	認証されていないDesoutterMIDs	1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。 2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。

番号	説明	手順
W735	Fordプロトコル：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W736	Fordプロトコルがアクティブではありません	1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。 2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。
W741	CVILOGIX：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W742	CVILOGIX が非アクティブ	1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。 2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。
W743	最大50Pset：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W744	最大250Pset：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W745	最大50AP：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W746	最大250AP：デモモードの有効期限が切れました	1 - この機能のデモ期間は90日間です。 2 - このデモ期間が経過しました。 3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。
W501	CVILOGIXのユーザー情報	CVILOGIXプログラムによって生成されたメッセージ。
W600	システムが切断されました	1 - システムが切断されています。 2 - ネットワークケーブルを確認してください。
W601	結果がNG	結果NGです。
W925	RIMの更新が進行中	1 - RIMの更新が完了するまでお待ちください。

番号	説明	手順
W926	RIM 情報の不整合	1- RIMの情報を修正するためにファームウェアのアップグレードを実行してください。
E006	ローターロック済み	1- ツールを交換してください。 2- 破損したツールは、メンテナンスを必要とします。
E013	ツール接地の不良	1- 相間または相接地の短絡。 2- ツールの接続を外します。サポートについては、Desoutter の担当者にお問い合わせください。
E014	トルクパワーデフォルト	1- トルクセンサーが正しく供給されていません。 2- ツールのメンテナンスが必要です。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。
E019	ツール通信エラー	1- ツールの通信エラー 2- ツールとケーブル間の接続を確認してください。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。
E020	ツールLEDエラー	1- ツールLEDが正しく供給されていません。 2- ツールを外して再接続します。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。
E023	サポートされていないツール	1- システムに接続されているツールはサポートされていません。 2- Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
E200	急停止！	1- 急停止が作動しました。 2- Phoenixコネクタを確認してください。
E213	駆動部との接続が失われました	1- 駆動部との接続が切れました。 2- システムを再起動します。 3- それでも問題が解決しない場合は、Desoutter サポート担当者までご連絡ください。
E217	駆動部が無効です	1- 外部電源によって駆動部が無効化されています。 2- Desoutterのサポート担当者に連絡してください。

番号	説明	手順
E218	駆動部電源障害	1 - 駆動部のハードウェア障害。 2 - 安全上の問題。サポートについては、Desoutter の担当者にお問い合わせください。
E221	駆動部のチェックエラー	1 - 駆動部のハードウェア障害。 2 - 安全上の問題。サポートについては、Desoutter の担当者にお問い合わせください。
E222	システムが熱すぎます	1 - ヒートシンクが熱くなりすぎています。 2 - システムを冷まします。
E230	DCバス高	1 - 最大電流を超えています。DCバス電圧が高くなっています。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
E231	DCバスが低すぎます	1 - 電源障害。DCバス電圧が低くなっています。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
E232	エラーIDFieldbus	1 - システムに接続されているFieldbusモジュールは、認定されたDesoutterモジュールではありません。 2 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。
E233	CVINET FIFO がいっぱいです	1 - CVINET FIFOがいっぱいです。接続が失われました。 2 - イーサネットケーブルを確認してください。 3 - イーサネットの構成を確認してください。 4 - CVINETが正しく動作していることを確認してください。
E236	ToolsNet FIFO がいっぱいです	1 - ToolsNet FIFOがいっぱいです。接続が失われました。 2 - イーサネットケーブルを確認してください。 3 - イーサネットの構成を確認してください。 4 - ToolsNetが正しく動作していることを確認してください。
E240	XMLが許可されていません	1 - 選択されたXMLプロトコルは承認されていません。 2 - ePODの特性を確認してください。
E243	PFCSは許可されていません	1 - 選択されたPFCSプロトコルは許可されていません。 2 - ePODの特性を確認してください。

番号	説明	手順
E247	XMLバージョンの競合	1-アウディ/VW XML プロトコルバージョンで競合が検出されました。 2-システムとマスターPC/PLC間のバージョンの整合性を確認します。
E248	SAS 注文に失敗しました	1 - フィールドバスSASの注文に失敗しました。 2 - RRGI、SIOなどの値を確認してください。
E249	XML PRG 0	1- PRG値0がFieldbusによって設定されています。
E255	ドライブのチョークが熱すぎます	1 - パワーエレクトロニクスが熱くなっています。 2 - システムを冷まします。
E256	モーターが熱すぎます	1 - モータの最高温度に達したため、工具がロックされています。 2 - ツールは、モーターの温度が通常の値に戻るまでロックされたままになります。
E260	IPM が承認されていません。	1 - 選択されたIPMプロトコルは承認されていません。 2 - ePODの特性を確認してください。
E265	複数の締め付けユニットで使用可能なソケット	1 - 競合を解決するためにソケットの組み合わせを再構成してください。
E268	CVINET に互換性がありません	1- CVINET WEB ソフトウェアを更新してください。
E277	ハーフ DC バス電圧が範囲外です	1 - ハーフ DC バスの電圧が範囲外です。 2 - システムの電源を切ります。少なくとも30秒待ってください。システムの電源をオンにして、再試行してください。 3 - 問題が再度発生した場合は、ドライブを変更して再試行してください。 4 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
E278	プリロードされたBUSコンデンサ不良	1 - バスコンデンサが正しくプリロードされていません。 2 - システムの電源を切ります。少なくとも30秒待ってください。システムの電源を入れます。 3 - 問題が再度発生した場合は、ドライブを変更して再試行してください。 4 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。

番号	説明	手順
E280	結果が保存されていません	<p>1 - 締め付けの結果をePODで持続することが出来ませんでした。</p> <p>2 - システムの電源を切ります。少なくとも30秒待ってください。システムの電源を入れます。</p> <p>3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
E502	CVILOGIXのユーザー情報	CVILOGIXプログラムによって生成されたメッセージ。
E704	UVが不足しています	<p>1 - 構成のUV量がRIMで使用可能なUVsの数よりも大きくなっています。</p> <p>2 - UVsをこのRIMに割り当ててください。</p> <p>3 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。</p>
E705	デモUVが不足しています	<p>1 - 構成のdemo UV量がRIMで使用可能なdemo UVsの数よりも大きくなっています。</p> <p>2 - デモUVsをこのRIMに割り当ててください。</p> <p>3 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。</p>
E706	UV/デモUVが不足しています	<p>1 - 構成のdemo UV量がRIMで使用可能なdemo UVsの数よりも大きくなっています。</p> <p>2 - デモUVsをこのRIMに割り当ててください。</p> <p>3 - 詳細情報については、Desoutterの担当者にお問い合わせください。</p>
E711	締め付けユニット：デモモードが期限切れです	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E712	締め付けユニットがアクティブではありません	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E717	最大50Pset：デモモードの有効期限が切れました	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E718	最大250Pset：デモモードの有効期限が切れました	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>

番号	説明	手順
E719	最大50AP : デモモードの有効期限が切れました	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E720	最大250AP : デモモードの有効期限が切れました	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E721	最大 50のPset : 非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E722	最大 250のPset : 非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E723	最大 50のAP : 非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E724	最大 250のAP : 非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E729	PFCS : デモの期限切れ	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E730	PFCS が非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E732	VWXML : デモの期限切れ	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>

番号	説明	手順
E733	VWXML が非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E738	IPM : デモの期限切れ	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E739	IPM が非アクティブ	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>
E890	デバイスソフトウェアエラー	-
E915	バージョンの不整合	<p>1 - すべてのシステムのファームウェアバージョンは同一である必要があります。</p> <p>2 - システムファームウェアを更新します。</p>
E916	ワークグループが許可されていません	1 - ePOD3をプライマリシステムに接続します。
E918	非常停止 !	<p>1 - 非常停止が作動しました。</p> <p>2 - M8コネクタを確認してください。</p>
E919	追加のトランスデューサエラー	<p>1 - 追加のトランスデューサの最大トルクが、内蔵のトランスデューサの最大トルクよりも低くなっています。</p> <p>2 - Psetはツールに取り付けられていない追加のトランスデューサを使用しています。</p>
E927	RIM情報が破損しています	<p>1 - このRIMを使用することはできません。</p> <p>2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
E928	追跡システムの通信に失敗しました	1 - 追跡システムの通信に失敗しました。
E935	1 作業スペース: デモの有効期限が切れています	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E936	1作業スペース : 許可されていません	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>

番号	説明	手順
E941	E-Lit WI-FI : デモモードの有効期限が切れました	<p>1 - この機能のデモ期間は90日間です。</p> <p>2 - このデモ期間が経過しました。</p> <p>3 - 引き続き使用するには、UVでアクティブにする必要があります。</p>
E942	E-Lit WI-FI が承認されていません。	<p>1 - この機能は構成されていますがアクティブではありません。</p> <p>2 - UVで有効にするには、「機能管理」メニューに移動します。</p>

ツール関連のユーザー情報のリスト

タイプ	色	説明	アクション
情報	白	情報提供用のみ。	アクション不要。
警告	オレンジ	ツールはロックされています。	メッセージをクリックしてメッセージをクリア (確認) し、ツールのロックを解除します。
エラー	赤	ツールはロックされています。	ツールのロックを解除してエラーメッセージをクリアするには、問題を解決する必要があります。

番号	説明	手順
I004	スパン障害	<p>1 - トルクセンサからのスパン値が範囲外です。</p> <p>2 - 機械的な制約なしでツールを起動するため、もう一度試してみてください。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
I005	オフセット不良	<p>1 - トルクセンサーからのオフセット値が範囲外です。</p> <p>2 - 機械的な制約なしでツールを起動するため、もう一度試してみてください。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
I026	ツールメンテナンスアラーム n1	1 - ツール締め付けカウンターに達しました。
I027	ツールメンテナンスアラーム n2	1 - ツール締め付けカウンターに達しました。

番号	説明	手順
I038	ツールログ	<p>1 - 予期しないツールソフトウェアの例外。</p> <p>2 - ログファイルがツールによって生成されました。</p> <p>3 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
I046	バッテリー電流異常	<p>1 - 電池の消費電流が異常です。Psetの設定を確認してください。</p> <p>2 - このエラーは、速度設定が間違っていることが原因である可能性があります。</p>
I063	バッテリーパックが取り外されています	<p>1 - ツールからバッテリーパックの取り外しが検出されました。</p> <p>2 - 数秒後、ツールはシャットダウンします</p>
I065	外部始動が無視されました	<p>1 - 外部始動が検出されましたが無視されました。</p> <p>2 - ツールと外部始動の構成を確認してください。</p>
I103	回転セレクターの方向が無効です	<p>1 - 回転セレクターの方向を変更してください。</p> <p>2 - 回転セレクターが正しい位置にあるか、破損していないことを確認してください。</p>
I205	トルク設定	<p>1 - 無効なトルク設定：トルクがツールの特性を上回っています。</p> <p>2 - ツール特性でのPset設定を確認してください。</p>
I206	速度設定	<p>1 - 無効な速度設定：速度がツールの特性を上回っています。</p> <p>2 - ツールの最高速度でPset設定を確認してください。</p>
I210	無効なPsetが選択されました	<p>1 - 選択されたPsetが、組立工程で選択可能なPsetと一致しません。</p>
I211	無効なトリガ構成	<p>1 - システムに接続されているツールには、トリガー構成に必要なトリガーが装備されていません。</p> <p>2 - トリガー構成をツールに合わせて調整するか、トリガー構成に合わせてツールを変更します。</p>
I224	IGBTが熱すぎます	<p>1 - パワーエレクトロニクスが熱くなっています。</p> <p>2 - システムを冷まします。</p>

番号	説明	手順
I251	Pset が選択されていません	1 - Psetが選択されていません。 2 - Psetを選択します。
I270	時間設定	1 - 無効な時間設定 2 - 正しい時間値設定でPset設定を確認してください
W010	ツール校正の期限切れ	1 - ツール校正日が期限切れです。 2 - 測定精度を確保するために工具の校正を行う必要があります。
W028	バッテリーツールのバージョンエラー	1 - バッテリーツールのバージョンとシステムのバージョンに互換性がありません。
W030	バッテリー残量が少なくなっています。	1 - バッテリー残量が少なくなっています。 2 - バッテリーを充電してください。
W033	ツールタイムエラー	1 - ツールタイムが正しく設定されていません。締め付け結果にはタイムスタンプは付きません。 2 - ツールをシステムに接続して日付と時刻を設定します。
W036	ツールメモリがいっぱいです	1 - ツールメモリがいっぱいです。 2 - ツールをシステムに接続してメモリを空にします。
W062	トルク過負荷	1 - トルクの過負荷 (リヒットの可能性がります)。 2 - ツールケーブルが損傷していないか確認してください。
W212	結果が保存されていません	1 - 締め付け結果をシステムに保存することはできません。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
W216	高電流	1 - 最大電流を超えています。 2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。
W267	結果転送エラー	結果転送エラー。
E007	モーターが熱すぎます	1 - モーターの最高温度に達したため、工具がロックされています。 2 - ツールは、モーターの温度が通常の値に戻るまでロックされたままになります。
E008	ツール角度不良	1 - ツール角度センサーで問題が検出されました。 2 - ツールのメンテナンスが必要です。

番号	説明	手順
E009	ツール無効パラメータ	<p>1 - ツールの互換性を確認してください。</p> <p>2 - ツールメモリが読み取れないか、または無効です。</p> <p>3 - ツールのメンテナンスが必要です。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
E012	ツールEEPROMエラー	<p>1 - ツールメモリが読み取れないか、または無効です。</p> <p>2 - ツールのメンテナンスが必要です。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
E018	トルクが範囲外です！	<p>1 - 目標トルク値がツール最大トルクを超えています。</p> <p>2 - ツール特性でのPset設定を確認してください。</p>
E029	バッテリーが空です。	<p>1 - バッテリーパックが放電しています。ツールが締められない。</p> <p>2 - バッテリーパックを充電してください。</p>
E031	電池エラー	<p>1 - 電池電圧が異常です。ツールが締められない。</p> <p>2 - バッテリーパックを充電してください。それでも問題が解決しない場合は、バッテリーパックを交換してください。</p>
E032	ツール表示エラー	<p>1 - ボードディスプレイの不良。</p> <p>2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
E034	ツールメモリエラー	<p>1 - ツールメモリが正常に動作しません。</p> <p>2 - Desoutterのサポート担当者に連絡してください。</p>
E035	ツールメモリがロックされている	<p>1 - ツールメモリは古いデータを書き換えから保護するためにロックされています。</p> <p>2 - eDOCKを介してツールをコンピュータに接続し、古いデータを取得します。</p>
E037	ツールトリガエラー	<p>1 - ツールトリガーが正しく機能しない。</p> <p>2 - トリガーを点検して清掃します。それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>

番号	説明	手順
E045	電池電圧異常	<p>1 - バッテリーパックを確認してください。</p> <p>2 - このエラーは、充電器の不良やバッテリーが寿命に達したことが原因である可能性があります。</p>
E047	バッテリー残量が少なすぎます。	<p>1 - バッテリーパックを確認してください。</p> <p>2 - 再度問題が発生した場合は、バッテリーパックを交換してください。</p>
E048	使用できないバッテリータイプです	<p>1 - 使用できないバッテリータイプです。</p> <p>2 - バッテリーパックを交換するか、構成を交換してください。</p>
E223	ドライブ初期化エラー	<p>1 - ソフトウェア障害。</p> <p>2 - システムを再起動してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
E227	モーターストール	<p>1 - モーターが失速した (欠相、モーター調整が正しくない、またはパワーエレクトロニクスの不良の可能性が有ります)</p> <p>2 - もう一度やり直してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>
E228	駆動部エラー	<p>1 - ソフトウェア障害。</p> <p>2 - システムを再起動してください。</p> <p>3 - それでも問題が再発した場合は、Desoutter サポート担当者までお問い合わせください。</p>

1914年に設立されフランスに本社を置く Desoutter Industrial Tools は、航空宇宙、自動車、軽自動車・重量車両、オフロード、一般産業界を含む広範な組み立ておよび製造業務にサービスを提供する電動・空気圧アセンブリツールの世界的リーダーです。

Desoutter は、地元および 170 カ国を超える世界中のお客様の個別の要求を満たすために、包括的な範囲のソリューション、つまりツール、サービス、プロジェクトを提供します。

当社は、空圧・電動ドライバー、高度なアセンブリツール、高度な掘削ユニット、エアモーター、トルク計測システムなどの革新的な品質の産業用ツールソリューションを設計、開発、提供しています。

www.desouttertools.com で詳細をご覧ください



More Than Productivity